

平成 25 年

社会保障制度改革に関する意識等調査報告書

厚生労働省政策統括官付政策評価官室

目 次

調 査 の 概 要	1
調 査 結 果 の 概 要	3
I 社会保障制度に関する情報についての意識	3
1 社会保障制度に関する情報に接する度合い	3
2 社会保障制度に関する情報の入手先と情報提供の希望	5
3 取得した情報の内容や情報の提供状況に対する満足度	7
4 取得した情報の内容や情報の提供状況に対する不満の理由	9
5 社会保障制度に関する授業の内容をどの程度覚えているか	11
II 社会保障制度改革についての意識	13
1 今後、充実させるべき社会保障の分野とより効率的な給付やサービスにすべき分野	13
2 税や社会保険料の負担水準の感じ方	15
3 今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方	17
4 今後の社会保障の給付と負担の水準についての考え方	19
5 手助けや見守りを行うに当たっての公的なサービス（介護保険など）の満足度	22
6 子育て支援に関する公的なサービス（保育所など）の満足度	24
統 計 表	26
調 査 票	40

調査の概要

1 調査の目的

少子高齢化といった人口構成の大きな変化、非正規雇用の労働者の増大など雇用基盤の変化、家族形態・地域基盤の変化など、社会保障制度を支える社会経済情勢には大きな変化が生じている。その中で社会保障制度には、その機能を維持し、制度の持続可能性を確保するための改革が求められている。

この調査は、社会保障制度に対する認知度や、給付と負担の水準などについての意識を調査することで、今後の社会保障・税一体改革を含めた厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象

平成25年国民生活基礎調査（所得票）の対象単位区から無作為に抽出した360単位区内のすべての世帯の20歳以上の世帯員を調査対象とした。

3 調査の実施日

平成25年7月11日（木）

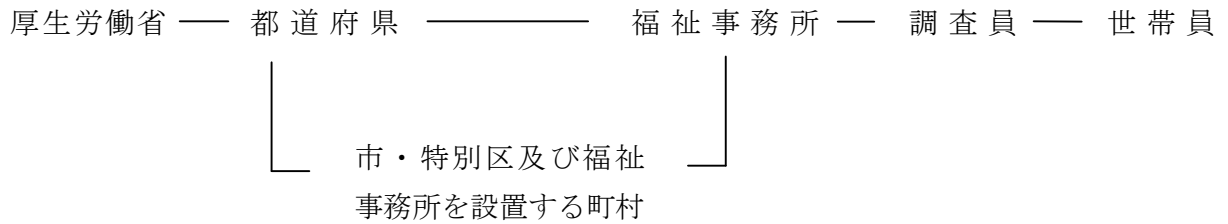
4 調査の事項

- (1) 性・出生年月
- (2) 社会保障制度に関する情報の入手方法とその満足度、今後充実すべき社会保障の分野、望ましい負担と給付の水準 等

5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に、調査対象となった世帯員が自ら記入し、後日調査員が回収する方式（留置自計方式）により実施した。

6 調査の系統



7 回収客体数及び集計客体数

回収客体数	集計客体数
10,600人	10,138人

8 集計客体の性・年齢階級別客体数

上段：世帯員数
下段：構成割合(%)

	総数	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 65歳以上
総数	10,138 100.0	918 9.1	1,478 14.6	1,667 16.4	1,548 15.3	2,107 20.8	2,420 23.9	3,401 33.5
男性	4,770 100.0	434 9.1	719 15.1	806 16.9	709 14.9	1,038 21.8	1,064 22.3	1,530 32.1
女性	5,368 100.0	484 9.0	759 14.1	861 16.0	839 15.6	1,069 19.9	1,356 25.3	1,871 34.9

9 利用上の注意

調査結果の概要の図において、一部表章を省略した数値については、巻末統計表に掲載している。

調査結果の概要

I 社会保障制度に関する情報についての意識

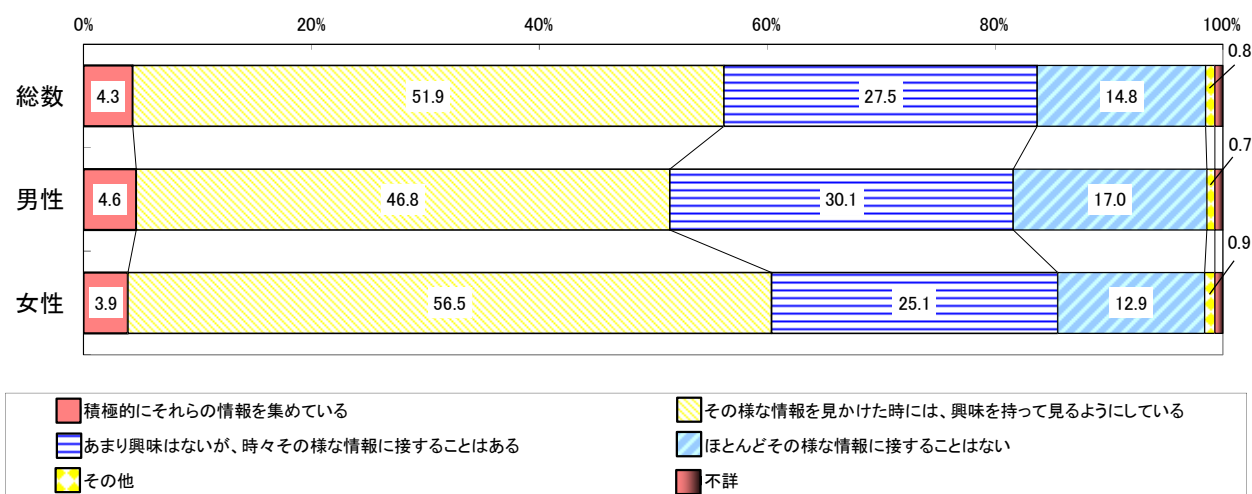
1. 社会保障制度に関する情報に接する度合い

- ・ 社会保障制度の情報を「見かけた時には興味を持って見るようにしている」が5割
29歳以下は「あまり興味はないが情報に接することはある」と「ほとんど接しない」で7割

年金、医療、介護、子ども・子育て支援などの社会保障制度について、普段どの程度それらに関する情報に接しているかについては、「その様な情報を見かけた時には、興味を持って見るようにしている」が最も多く51.9%、次いで「あまり興味はないが、時々その様な情報に接することはある」が27.5%、「ほとんどその様な情報に接することはない」が14.8%、「積極的にそれらの情報を集めている」が4.3%となっている。

性別にみると、「積極的にそれらの情報を集めている」と「その様な情報を見かけた時には、興味を持って見るようにしている」を合わせた割合は、男性で51.4%、女性で60.4%となっており、女性の方が社会保障制度に関する情報に興味を持って接している者の割合が多い。

図1 普段どの程度社会保障制度に関する情報に接しているか

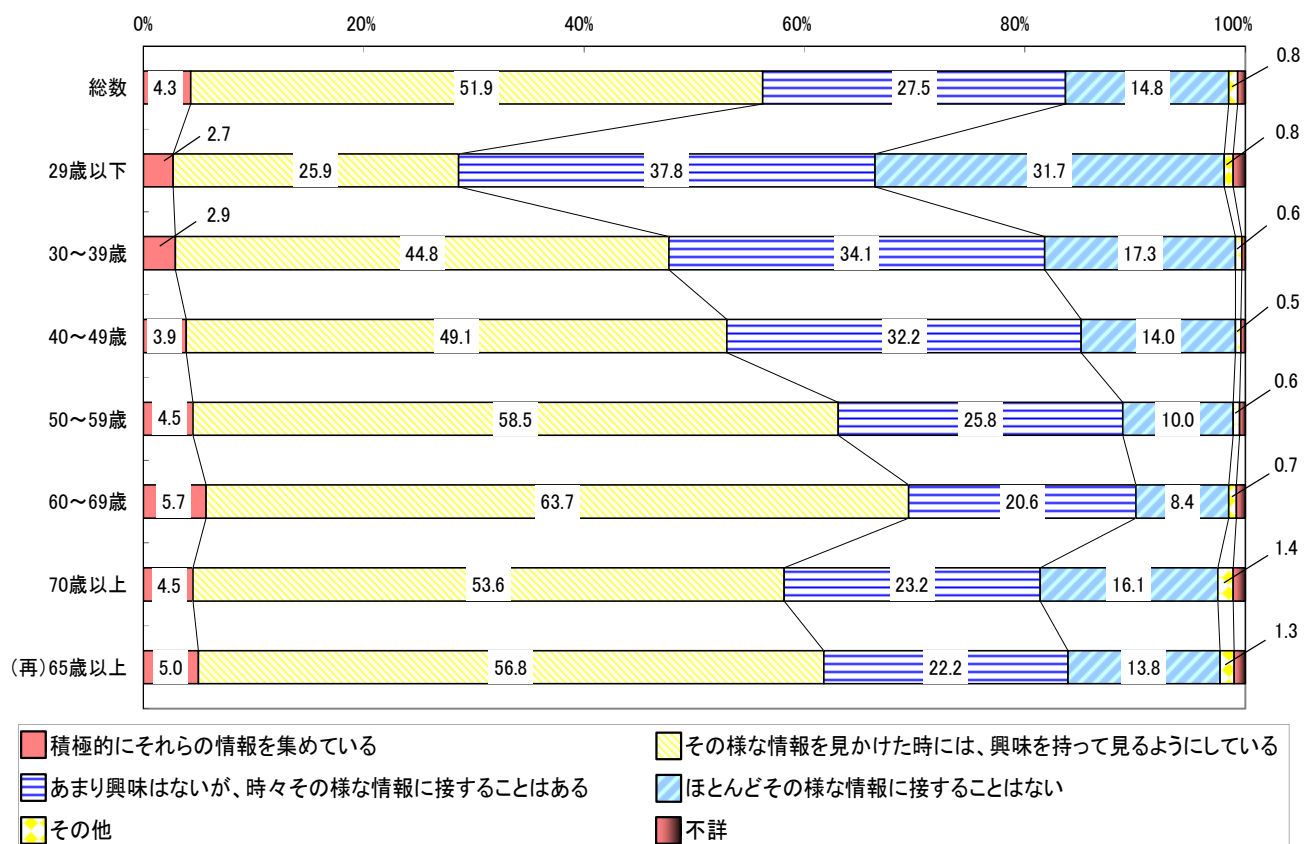


年齢階級別にみると、69歳までの各年齢階級では、年齢が上がるにつれて、「積極的にそれらの情報を集めている」「その様な情報を見かけた時には、興味を持って見るようにしている」の割合が多くなる一方、「あまり興味はないが、時々その様な情報に接することはある」「ほとんどその様な情報に接することはない」の割合が少なくなっている。

70歳以上では、60～69歳に比べ、「その様な情報を見かけた時には、興味を持って見るようにしている」が少なく、「ほとんどその様な情報に接することはない」が多くなっている。

29歳以下では、「あまり興味はないが、時々その様な情報に接することはある」37.8%と「ほとんどその様な情報に接することはない」31.7%が合わせて69.5%を占め、他の年齢階級に比べ、社会保障制度に関する情報への興味や接する度合いが低いことがうかがえる。

図2 年齢階級別にみた普段どの程度社会保障制度に関する情報に接しているか



2. 社会保障制度に関する情報の入手先と情報提供の希望

《どのような方法で入手することが多いか》

- ・ 社会保障制度に関する情報の入手先は、テレビからが7割、新聞からが5割強

社会保障制度に関する情報をどのような方法で入手することが多いかについては、「テレビ」が最も多く69.7%、次いで「新聞」が54.2%、「政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物」が25.5%などとなっている。

年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「テレビ」が最も多くなっている。また、「一般のウェブページ（ホームページ）」については若い世代で、「新聞」「テレビ」は高年齢層で多くなっている。

図3 どのような方法で入手することが多いか（複数回答）

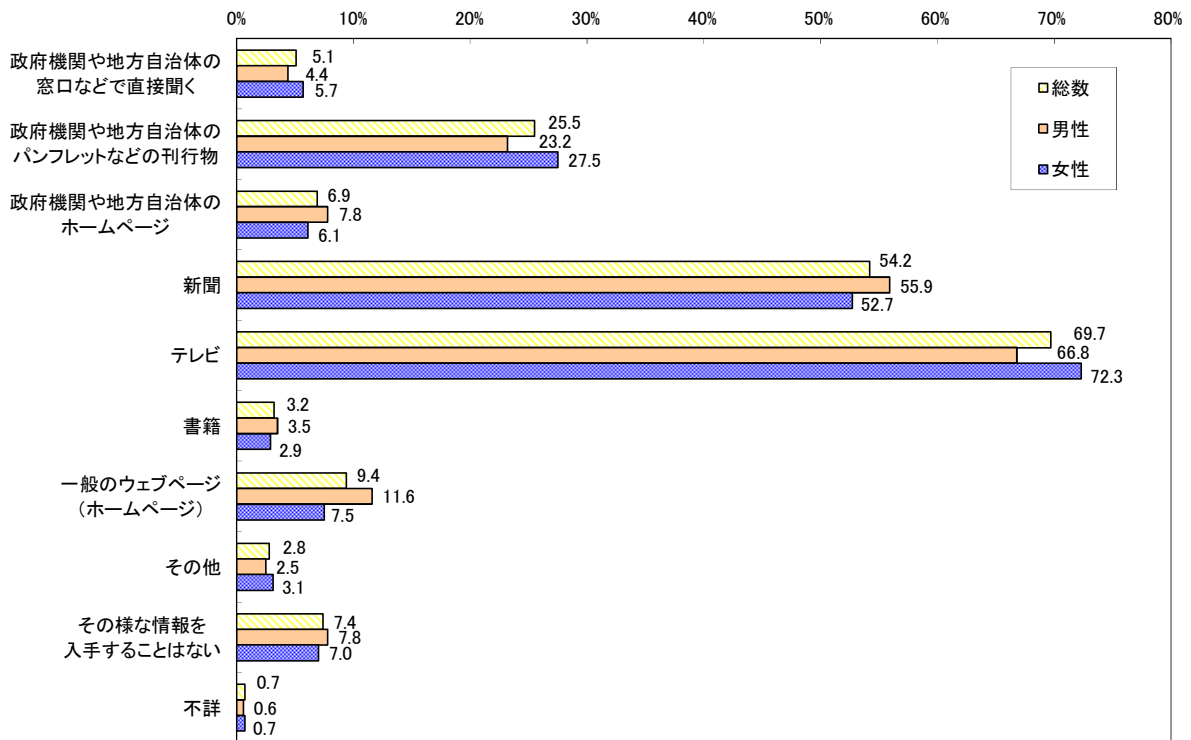


表1 年齢階級別にみたどのような方法で入手することが多いか（複数回答）

(単位: %)

	総数	政府機関や地方自治体の窓口などで直接聞く	政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物	政府機関や地方自治体のホームページ	新聞	テレビ	書籍	一般のウェブページ（ホームページ）	その他	その様な情報を入手することはない	不詳
総数	100.0	5.1	25.5	6.9	54.2	69.7	3.2	9.4	2.8	7.4	0.7
29歳以下	100.0	4.5	12.3	9.5	24.9	58.1	3.5	19.3	3.7	18.1	1.1
30～39歳	100.0	6.2	24.1	10.4	34.8	65.4	2.1	17.7	2.6	8.6	0.2
40～49歳	100.0	4.3	23.6	9.5	49.0	67.6	3.0	14.5	2.6	7.5	0.4
50～59歳	100.0	6.0	25.6	8.6	62.7	72.6	4.8	9.6	3.2	4.6	0.5
60～69歳	100.0	6.5	30.4	4.6	69.8	76.3	3.5	4.7	2.0	3.4	0.6
70歳以上	100.0	3.5	28.2	3.0	61.8	70.5	2.5	1.0	3.1	7.7	1.2
(再)65歳以上	100.0	4.2	29.5	3.2	64.5	72.0	2.8	1.6	2.8	6.6	1.1
男性	100.0	4.4	23.2	7.8	55.9	66.8	3.5	11.6	2.5	7.8	0.6
女性	100.0	5.7	27.5	6.1	52.7	72.3	2.9	7.5	3.1	7.0	0.7

《今後どのような形での情報提供を望むか》

- ・今後、政府機関や地方自治体の刊行物での情報提供を望む者が4割

社会保障制度に関して、今後どのような形での情報提供をより多く望んでいるかについては、「テレビ」が最も多く62.7%、次いで「新聞」が51.7%、「政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物」が41.2%などとなっている。

図3の「どのような方法で入手することが多いか」への回答と比較すると、「政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物」や「政府機関や地方自治体のホームページ」などが多くなっており、政府機関や地方自治体からの更なる情報提供が望まれていることがうかがえる。

図4 今後どのような形での情報提供を望むか（複数回答）

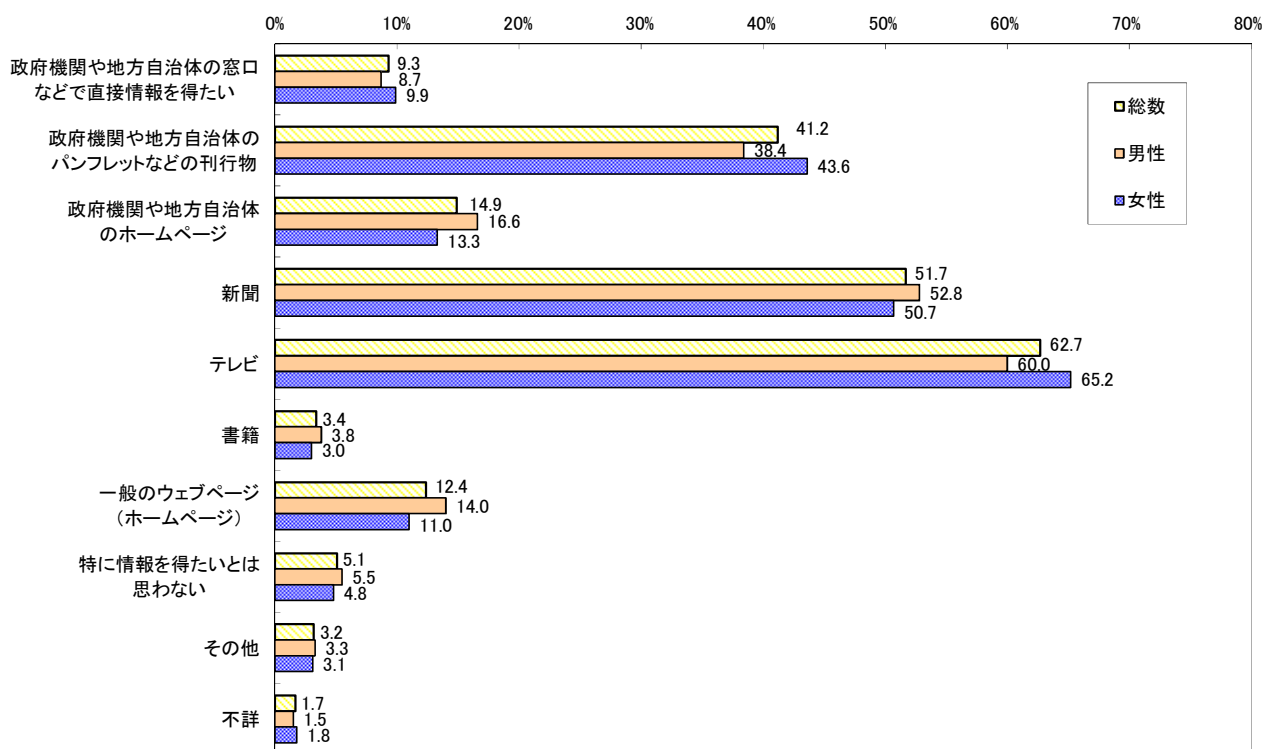


表2 年齢階級別にみた今後どのような形での情報提供を望むか（複数回答）

(単位:%)

	総数	政府機関や地方自治体の窓口などで直接情報を得たい	政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物	政府機関や地方自治体のホームページ	新聞	テレビ	書籍	一般のウェブページ（ホームページ）	特に情報を得たいとは思わない	その他	不詳
総数	100.0	9.3	41.2	14.9	51.7	62.7	3.4	12.4	5.1	3.2	1.7
29歳以下	100.0	7.6	25.6	21.0	29.4	59.2	3.7	25.9	10.6	1.9	1.5
30～39歳	100.0	8.9	38.5	23.9	36.0	61.2	2.2	21.6	4.8	4.5	0.4
40～49歳	100.0	9.3	41.0	21.1	46.6	60.6	3.7	19.9	4.4	3.4	1.8
50～59歳	100.0	12.3	46.6	18.5	56.8	63.2	4.8	13.8	3.2	3.2	1.2
60～69歳	100.0	10.9	47.6	10.1	64.3	65.2	3.5	5.9	3.5	1.9	1.7
70歳以上	100.0	7.0	39.8	4.6	59.0	64.0	2.7	1.2	6.2	3.8	2.8
(再)65歳以上	100.0	8.0	42.1	5.6	60.8	64.7	3.1	1.9	5.3	3.4	2.6
男性	100.0	8.7	38.4	16.6	52.8	60.0	3.8	14.0	5.5	3.3	1.5
女性	100.0	9.9	43.6	13.3	50.7	65.2	3.0	11.0	4.8	3.1	1.8

3. 取得した情報の内容や情報の提供状況に対する満足度

- ・満足と感じている者が4割弱、不満と感じている者が5割超

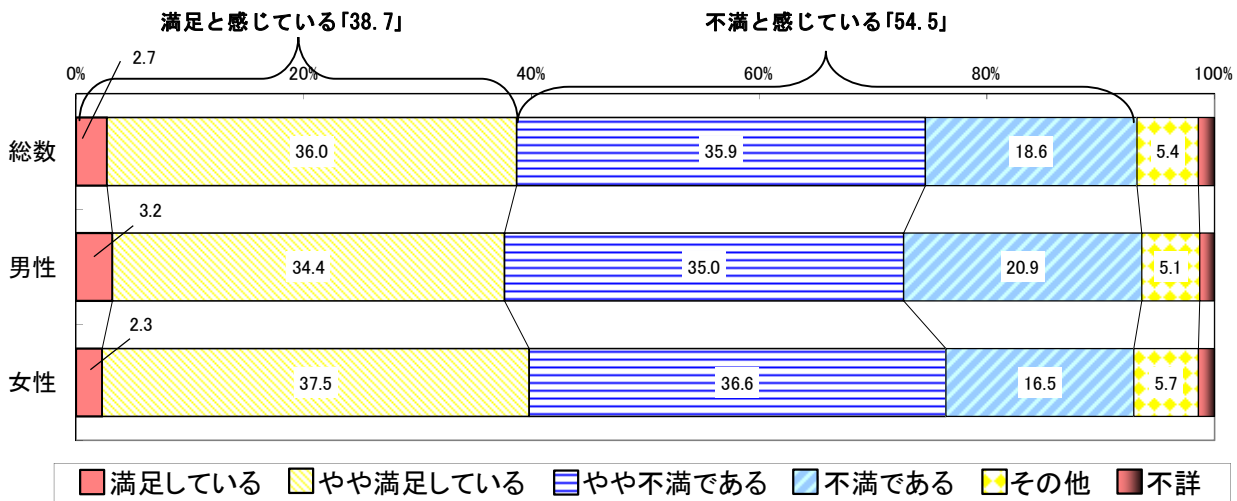
社会保障制度に関して普段得ている情報の内容や、政府からの社会保障制度に関する情報提供の状況について満足しているかについては、「やや満足している」が36.0%、「やや不満である」が35.9%とほぼ同じ割合を占め、次いで「不満である」が18.6%、「満足している」が2.7%となっている。

また、項目をまとめて満足度をみると、満足と感じている（「満足している」「やや満足している」）者が38.7%であるのに対し、不満と感じている（「不満である」「やや不満である」）者が54.5%となっており、不満と感じている者の割合の方が多い。

性別にみると、多い方から順に、男性は「やや不満である」35.0%、「やや満足している」34.4%、「不満である」20.9%であるのに対し、女性では「やや満足している」37.5%、「やや不満である」36.6%、「不満である」16.5%となっている。

満足と感じている者は、男性で37.6%、女性で39.8%となっており、若干ではあるが、女性の方が満足と感じている者の割合が多くなっている。

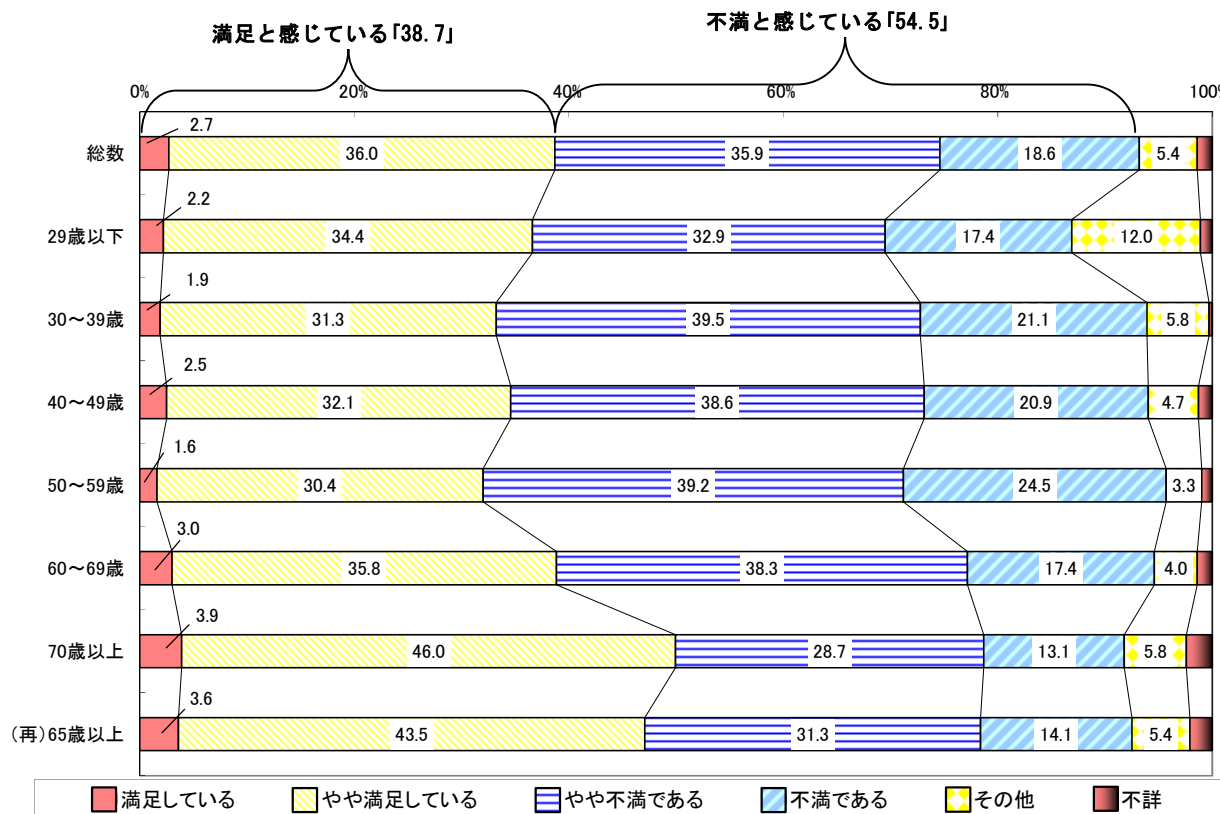
図5 社会保障制度に関する情報の内容及び情報提供の満足度



年齢階級別にみると、69歳までの各年齢階級では、不満と感じている（「不満である」「やや不満である」）者の割合が、満足と感じている（「満足している」「やや満足している」）者の割合を上回っており、不満と感じている者の割合は50～59歳で63.8%と最も多くなっている。

一方、70歳以上では、満足と感じている者の割合が50.0%を占め、不満と感じている者の割合41.8%より多くなっている。

図6 年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報の内容及び情報提供の満足度



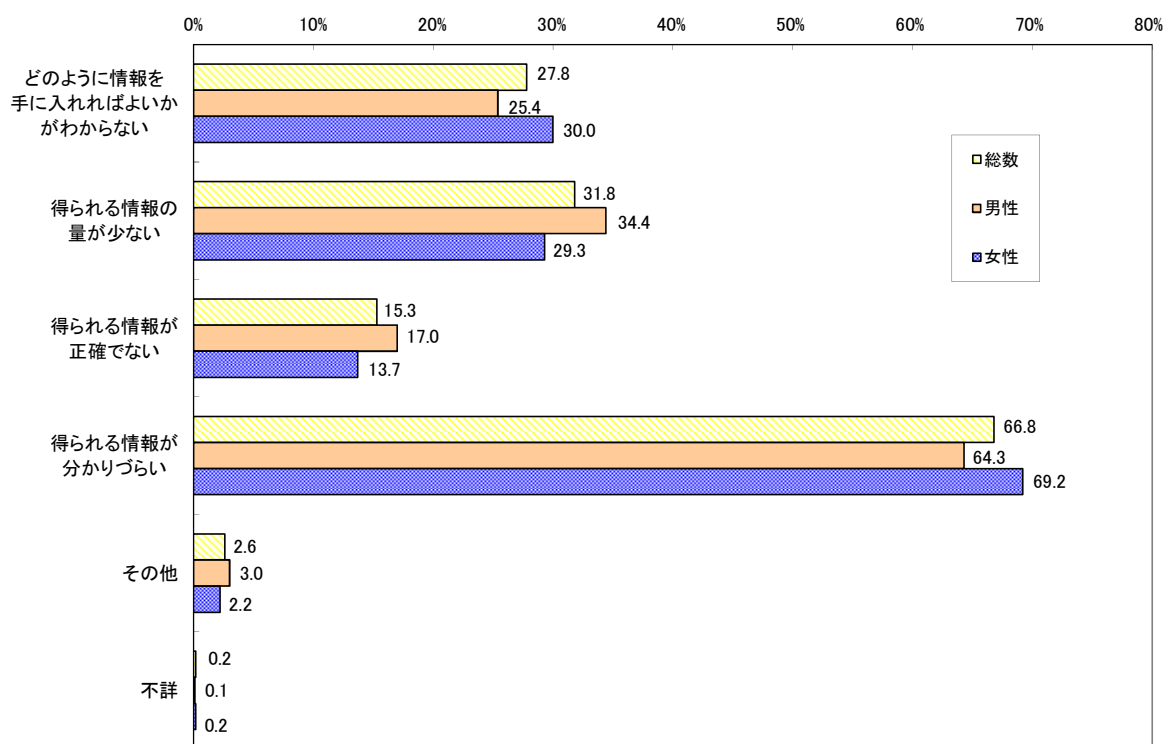
4. 取得した情報の内容や情報の提供状況に対する不満の理由

- ・不満の理由は「得られる情報が分かりづらい」が67%

社会保障制度に関して普段得ている情報の内容や、政府からの社会保障制度に関する情報提供の状況について不満と感じている（「不満である」「やや不満である」）者を対象に、不満である理由をみると、「得られる情報が分かりづらい」が最も多く66.8%、次いで「得られる情報の量が少ない」が31.8%、「どのように情報を手に入ればよいか分からない」が27.8%となっている。

性別にみると、男性女性ともに「得られる情報が分かりづらい」の割合が最も多くなっているが、次に続くのは、男性では「得られる情報の量が少ない」が34.4%、「どのように情報を手に入ればよいか分からない」が25.4%となっているのに対し、女性では「どのように情報を手に入ればよいか分からない」が30.0%、「得られる情報の量が少ない」が29.3%となっている。

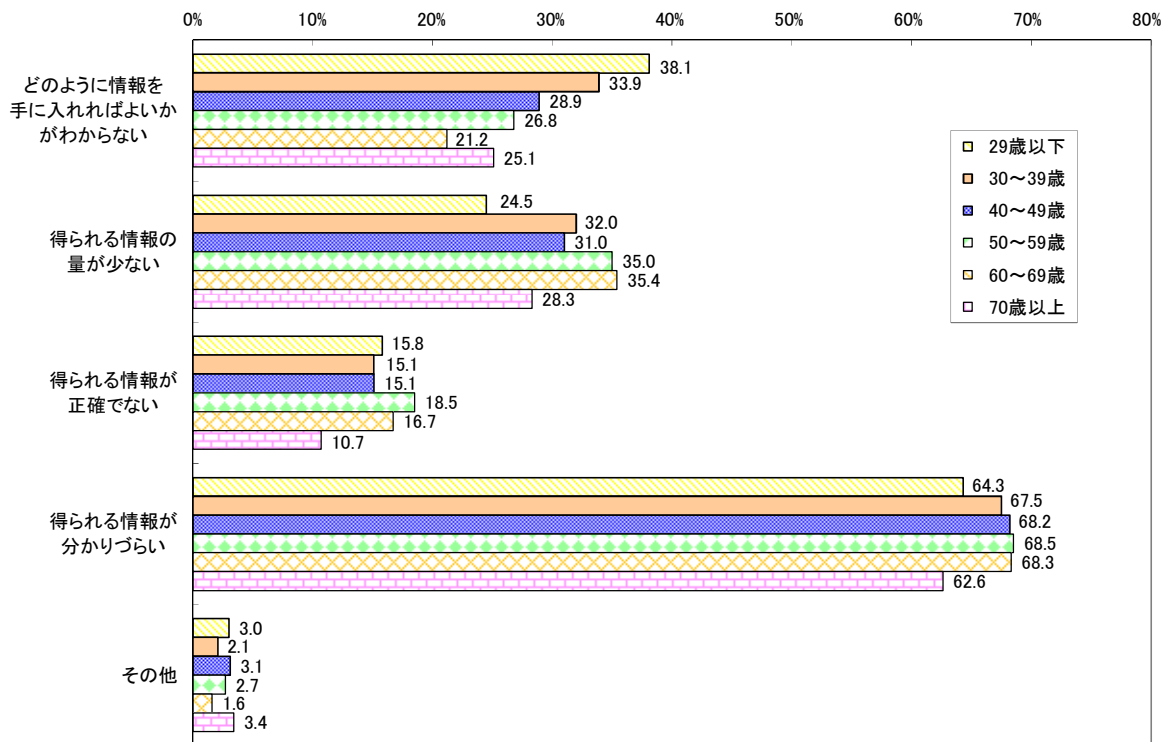
図7 社会保障制度に関する情報の内容及び情報提供が不満である理由（複数回答）



注：集計対象は、社会保障制度に関して普段得ている情報の内容や、政府からの社会保障制度に関する情報提供の状況について、「やや不満である」または「不満である」と回答した者である。

年齢階級別にみると、どの年齢階級においても「得られる情報が分かりづらい」が最も多いが、次に多いのは、39歳までの各年齢階級では「どのように情報を手に入ればよいか分からない」、40歳以上の各年齢階級では「得られる情報の量が少ない」となっている。

図8 年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報の内容及び情報提供が不満である理由
(複数回答)



注：集計対象は、社会保障制度に関して普段得ている情報の内容及、政府からの社会保障制度に関する情報提供の状況について、「やや不満である」または「不満である」と回答した者である。

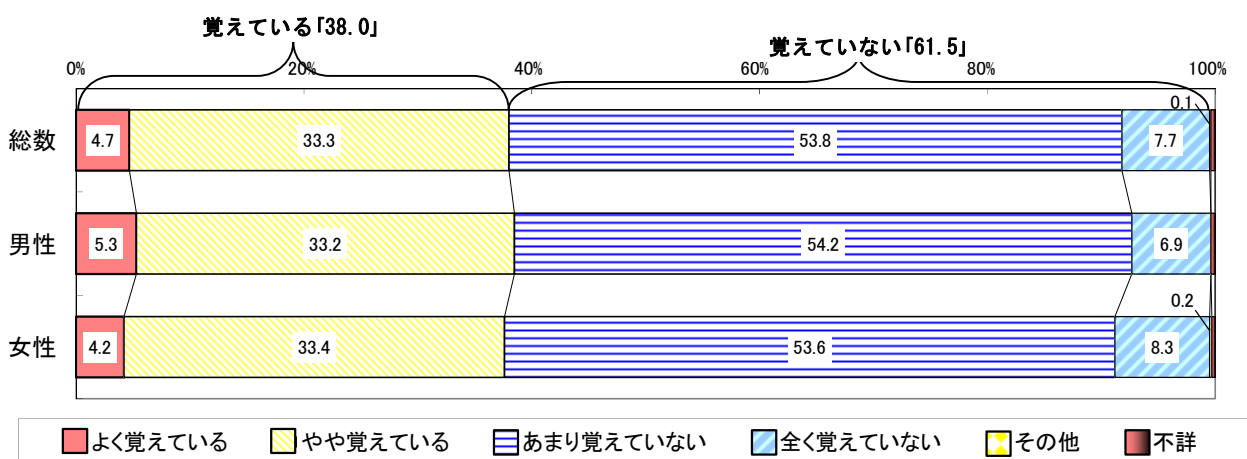
5. 社会保障制度に関する授業の内容をどの程度覚えているか

- ・授業内容を覚えている者が4割、覚えていない者が6割

学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験がある者を対象に、授業がどのような内容であったか、現在どの程度覚えているかについてみると、「よく覚えている」が4.7%、「やや覚えている」が33.3%となっており、覚えている者が合わせて38.0%を占める。これに対し、「あまり覚えていない」が53.8%、「全く覚えていない」が7.7%と、覚えていない者は合わせて61.5%となっている。

性別にみても、男性女性ともに、覚えていない（「あまり覚えていない」「全く覚えていない」）者が6割を超え、覚えている（「よく覚えている」「やや覚えている」）者は4割を下回る。

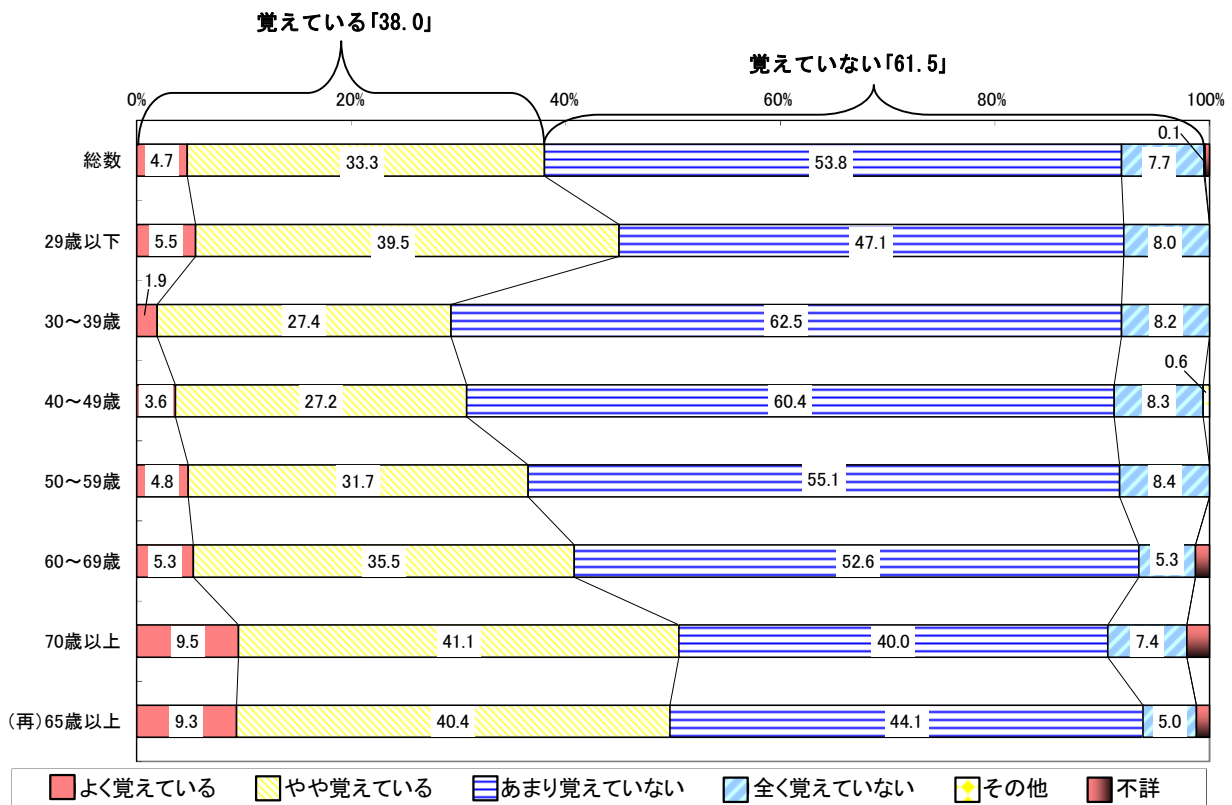
図9 社会保障制度に関する授業内容の記憶



注：集計対象は、学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験が「ある」と回答した者である。

年齢階級別にみると、30歳以上70歳未満の各年齢階級では、覚えていない者の割合が多いが、年齢が上がるにつれて覚えている者の割合が多くなっている。一方、29歳以下と70歳以上では、覚えている者がそれぞれ45.0%、50.5%となっており、他の年齢階級に比べ覚えている者の割合が多い。

図10 年齢階級別にみた社会保障制度に関する授業内容の記憶



注：集計対象は、学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験が「ある」と回答した者である。

次に、社会保障制度に関する授業を受けた学校ごとに、社会保障制度に関する授業内容について現在どの程度覚えているかをみると、いずれの学校においても「あまり覚えていない」の割合が最も多くなっている。

また、項目をまとめて覚えている程度をみると、「小学校」「中学校」「高校、専門学校」では、覚えている（「よく覚えている」「やや覚えている」）者が4割を下回り、覚えていない（「あまり覚えていない」「全く覚えていない」）者が6割を超えている。一方、「大学、短期大学」では、覚えている者、覚えていない者がともに5割程度となっており、他の学校に比べ覚えている者の割合が多い。

表3 授業を受けた学校別にみた社会保障制度に関する授業内容の記憶

	総数	覚えている程度				その他	不詳
		よく覚えている	やや覚えている	あまり覚えていない	全く覚えていない		
総数	100.0	4.7	33.3	53.8	7.7	0.1	0.4
小学校	100.0	5.6	31.5	53.7	9.3	-	-
中学校	100.0	3.6	31.4	60.4	4.4	-	0.3
高校、専門学校	100.0	3.6	33.2	56.6	6.1	0.2	0.3
大学、短期大学	100.0	7.5	41.3	43.8	7.2	0.3	-

注：集計対象は、学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験が「ある」と回答した者である。学校別の数値は、各学校で授業を受けたことがある者（複数回答）を100%としている。

II 社会保障制度改革についての意識

1. 今後、充実させるべき社会保障の分野とより効率的な給付やサービスにすべき分野

《今後、充実させるべき社会保障の分野》

- ・ 充実させるべき社会保障の分野は、老後の所得保障(年金)とする者が最多

今後、充実させる必要があると考える社会保障の分野は、「老後の所得保障(年金)」が最も多く64.5%、次いで「高齢者医療や介護」が51.7%、「医療保険・医療供給体制など」が40.6%となっている。

年齢階級別にみると、「子ども・子育て支援」「雇用の確保や失業対策」は若い世代で多く、「老後の所得保障(年金)」「高齢者医療や介護」は高齢年齢層で多くなっている。

図11 今後充実させる必要があると考える社会保障の分野（複数回答）

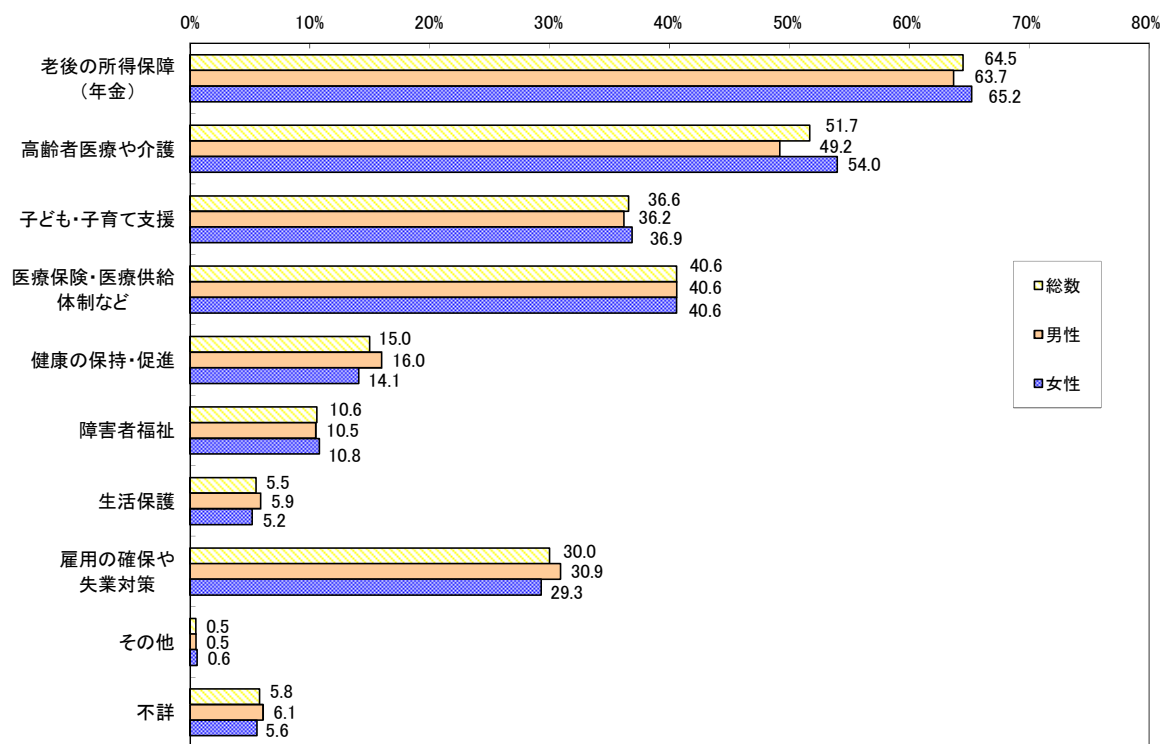


表4 年齢階級別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	64.5	51.7	36.6	40.6	15.0	10.6	5.5	30.0	0.5	5.8
29歳以下	100.0	45.2	27.8	60.5	40.3	17.5	11.4	5.0	48.9	0.5	5.0
30~39歳	100.0	57.2	34.1	64.1	40.7	14.3	8.9	3.7	37.5	0.5	3.8
40~49歳	100.0	67.2	47.0	44.3	40.9	12.8	11.6	5.2	34.7	0.4	3.4
50~59歳	100.0	72.0	54.8	28.9	41.1	13.2	10.9	6.1	37.3	0.4	4.1
60~69歳	100.0	69.5	59.1	29.8	40.1	15.4	11.0	6.2	26.7	0.4	5.2
70歳以上	100.0	65.1	66.4	16.2	40.6	16.6	10.2	6.2	13.3	0.8	10.7
(再)65歳以上	100.0	66.1	64.6	19.2	40.4	15.9	10.3	6.4	16.4	0.7	9.4
男性	100.0	63.7	49.2	36.2	40.6	16.0	10.5	5.9	30.9	0.5	6.1
女性	100.0	65.2	54.0	36.9	40.6	14.1	10.8	5.2	29.3	0.6	5.6

《今後、より効率的な給付やサービスにすべき社会保障の分野》

- ・より効率的にすべき社会保障の分野は、老後の所得保障(年金)、高齢者医療や介護、医療保険・医療供給体制などと考える者がいずれも4割程度

今後、より効率的な給付やサービスにすべきと考える社会保障の分野は、「老後の所得保障(年金)」と「高齢者医療や介護」がともに41.5%、「医療保険・医療供給体制など」が40.4%となっており、いずれも4割程度となっている。また、図11の今後充実させる必要がある分野への回答と比較すると、「障害者福祉」「生活保護」などが多くなっている。

年齢階級別にみると、「子ども・子育て支援」「雇用の確保や失業対策」は若い世代で多く、「高齢者医療や介護」は高齢層で多くなっている。

図12 今後、より効率的な給付やサービスにすべきと考える社会保障の分野（複数回答）

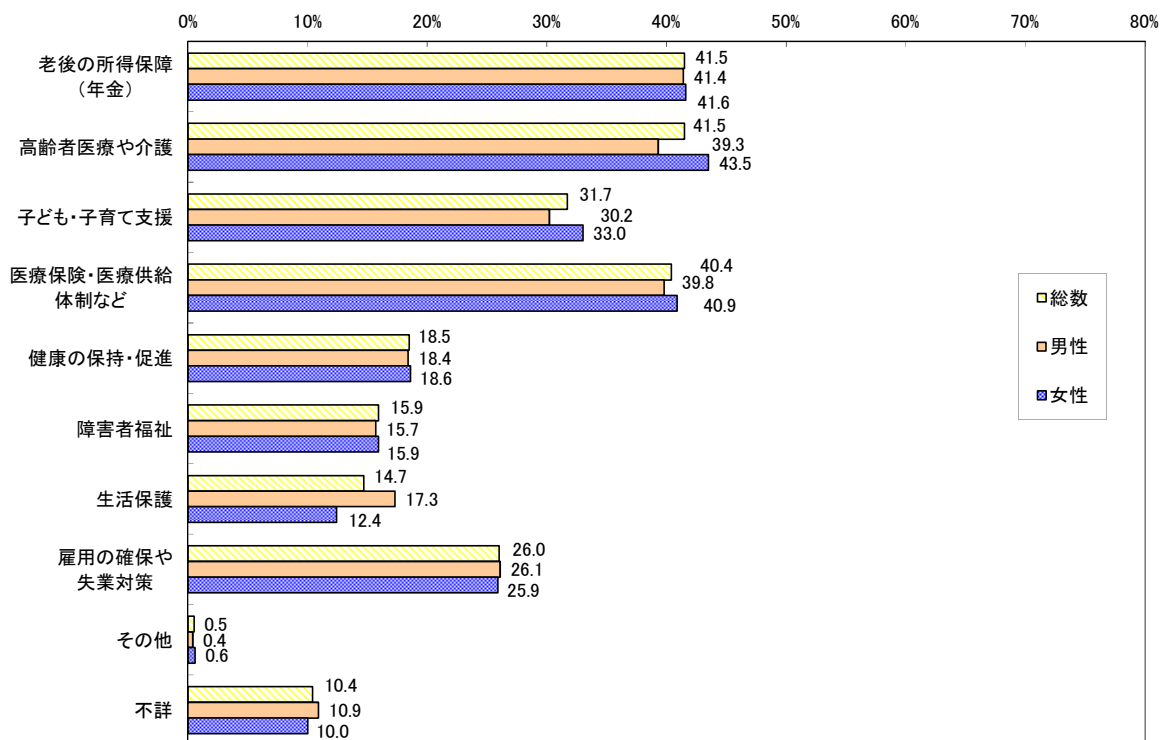


表5 年齢階級別にみた今後より効率的な給付やサービスにすべきと考える社会保障の分野（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	41.5	41.5	31.7	40.4	18.5	15.9	14.7	26.0	0.5	10.4
29歳以下	100.0	37.9	29.7	46.1	38.0	17.4	14.8	16.0	35.7	0.4	8.1
30~39歳	100.0	43.5	33.8	49.1	38.5	17.9	14.3	15.5	29.5	0.3	6.6
40~49歳	100.0	46.4	40.4	34.4	41.3	16.4	15.5	16.7	30.4	0.4	6.9
50~59歳	100.0	46.4	47.7	28.0	41.3	17.3	15.6	17.2	28.3	0.2	7.7
60~69歳	100.0	39.9	45.7	27.9	42.4	20.4	17.0	13.2	25.7	0.6	10.0
70歳以上	100.0	36.4	43.7	19.4	39.4	19.8	16.5	12.0	15.8	0.9	18.2
(再)65歳以上	100.0	36.5	44.3	21.4	40.5	19.8	15.9	12.4	18.3	0.8	16.1
男性	100.0	41.4	39.3	30.2	39.8	18.4	15.7	17.3	26.1	0.4	10.9
女性	100.0	41.6	43.5	33.0	40.9	18.6	15.9	12.4	25.9	0.6	10.0

2. 税や社会保険料の負担水準の感じ方

- ・税や社会保険料の負担水準は「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が5割

現在の税や社会保険料の負担水準についてどう思うかについては、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が最も多く50.5%、次いで「生活が苦しくなるほど重い」が39.1%、「特に負担感はない」が6.8%となっている。

年齢階級別にみると、「生活が苦しくなるほど重い」は50～59歳で最も多く43.4%、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」は30～39歳で最も多く55.0%となっている。一方、「特に負担感はない」は29歳以下で12.9%、70歳以上で9.4%となっており、他の年齢階級に比べ多くなっている。

図13 税や社会保険料の負担水準の感じ方

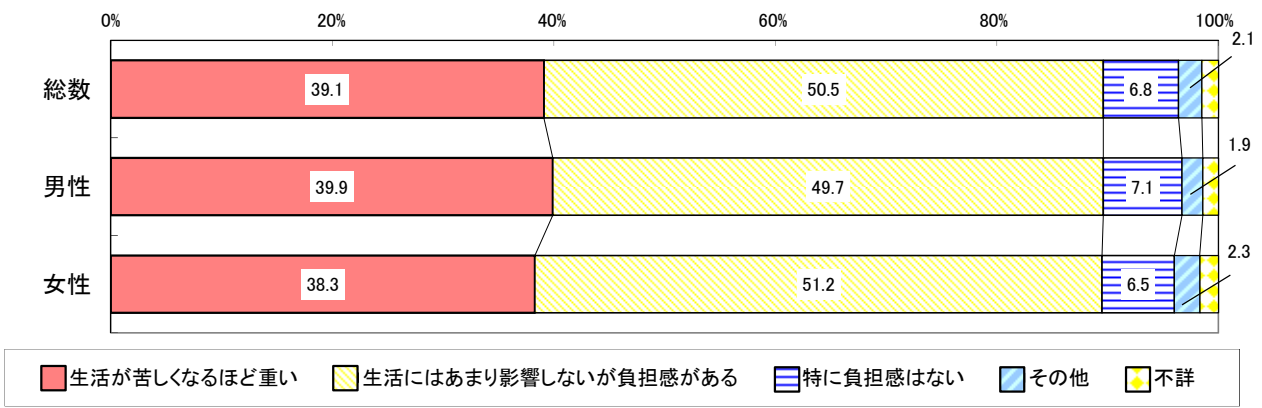
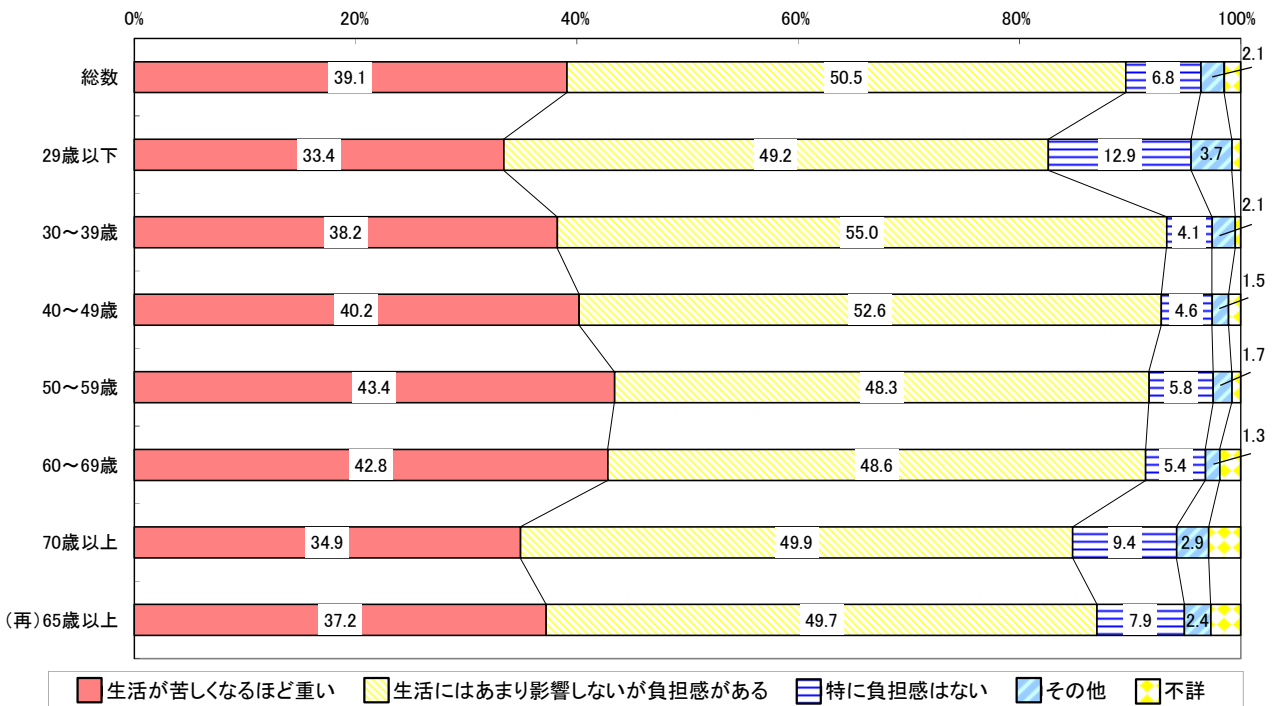
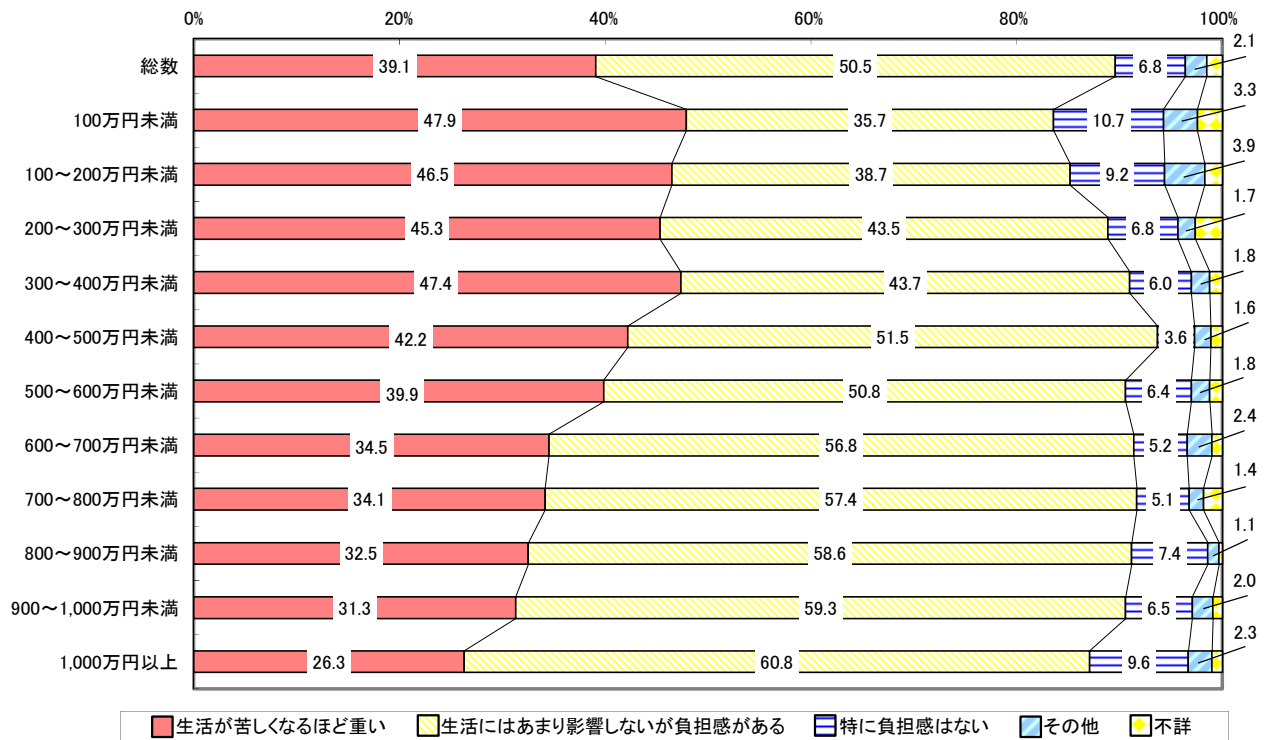


図14 年齢階級別にみた税や社会保険料の負担水準の感じ方



次に、世帯の所得階級別にみると、400万円未満の所得階級では「生活が苦しくなるほど重い」が最も多く、400万円以上の所得階級では「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が最も多くなっている。概して、所得水準が上がるにつれて、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」の割合が多くなっている。

図15 世帯の所得階級別にみた税や社会保険料の負担水準の感じ方



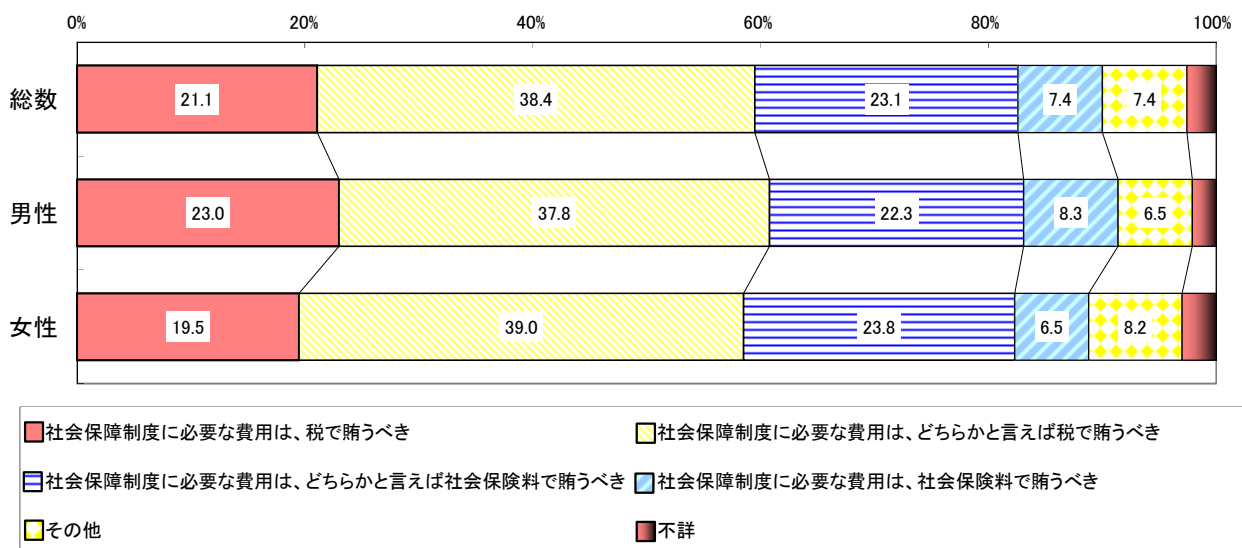
3. 今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方

- ・「社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば税で賄うべき」と考える者が4割弱

今後の社会保障制度を維持するための財源として、税と社会保険料のどちらを中心にしていくべきだと考えるかについては、「社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば税で賄うべき」が最も多く38.4%、次いで「社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば社会保険料で賄うべき」が23.1%、「社会保障制度に必要な費用は、税で賄うべき」が21.1%、「社会保障制度に必要な費用は、社会保険料で賄うべき」が7.4%となっている。

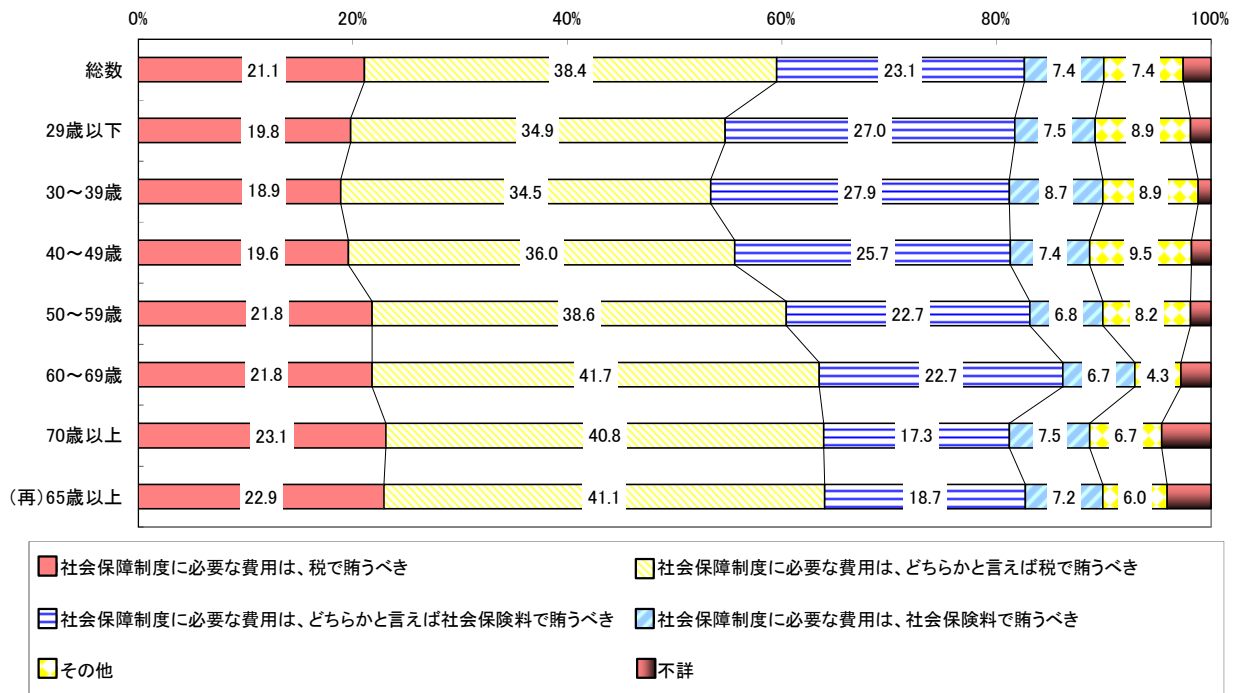
性別にみると、男性女性ともに「どちらかと言えば税で賄うべき」が最も多く、男性では37.8%、女性では39.0%となっているが、次に多いのは、男性では「税で賄うべき」の23.0%となっているのに対し、女性では「どちらかと言えば社会保険料で賄うべき」の23.8%となっている。

図16 今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方



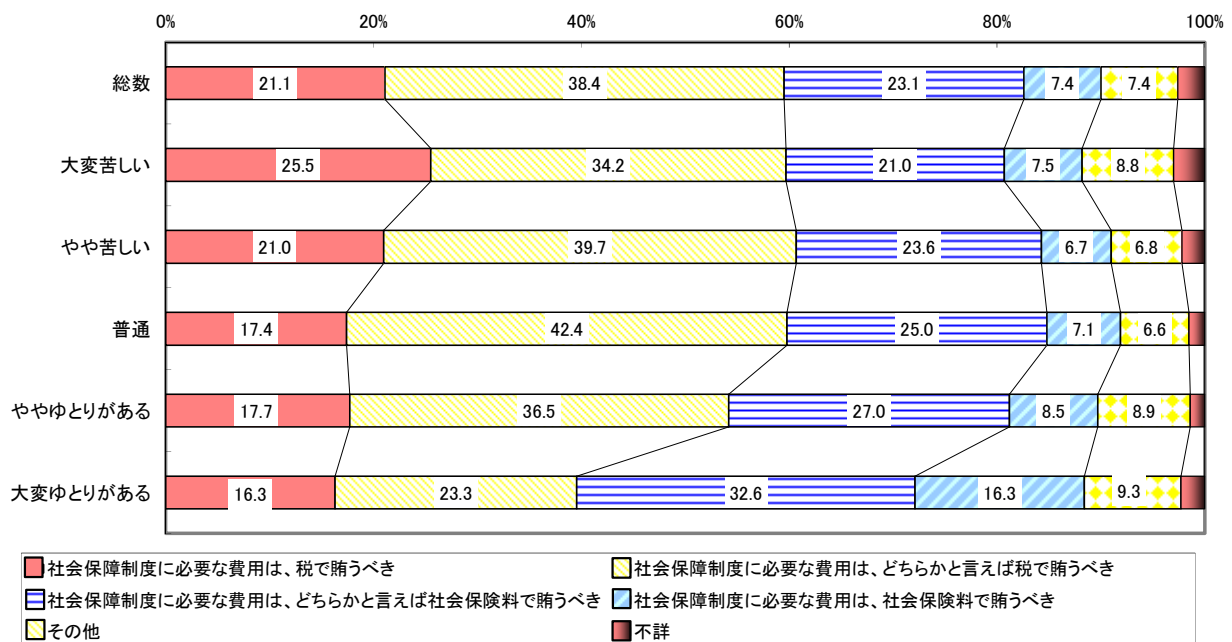
年齢階級別にみると、30歳以上では、年齢階級が上がるにつれて、「税で賄うべき」または「どちらかと言えば税で賄うべき」と考える者の割合が多くなっている一方、若い世代ほど「どちらかと言えば社会保険料で賄うべき」または「社会保険料で賄うべき」と考える者の割合が多くなっている。

図 1 7 年齢階級別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方



次に、世帯の生活意識別にみると、苦しい（「大変苦しい」「やや苦しい」）と感じている世帯層では、他の世帯層に比べ、「税で賄うべき」と考える者の割合が多くなっている。一方、ゆとりがある（「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」）と感じている世帯層では、他の世帯層に比べ、「どちらかと言えば社会保険料で賄うべき」または「社会保険料で賄うべき」と考える者の割合が多くなっている。

図 1 8 世帯の生活意識別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方



4. 今後の社会保障の給付と負担の水準についての考え方

《給付の水準についての考え方》

- ・ 社会保障の給付水準を「維持すべき」が約5割、「ある程度引き上げるべき」が3割

今後の社会保障の給付の水準について、どのようにあるべきだと思うかについては、「社会保障の給付水準は維持すべき」が最も多く48.2%、次いで「社会保障の給付水準はある程度引き上げるべき」が29.4%、「社会保障の給付水準はある程度引き下げるべき」が7.7%となっている。

図19 今後の社会保障の給付の水準についての考え方

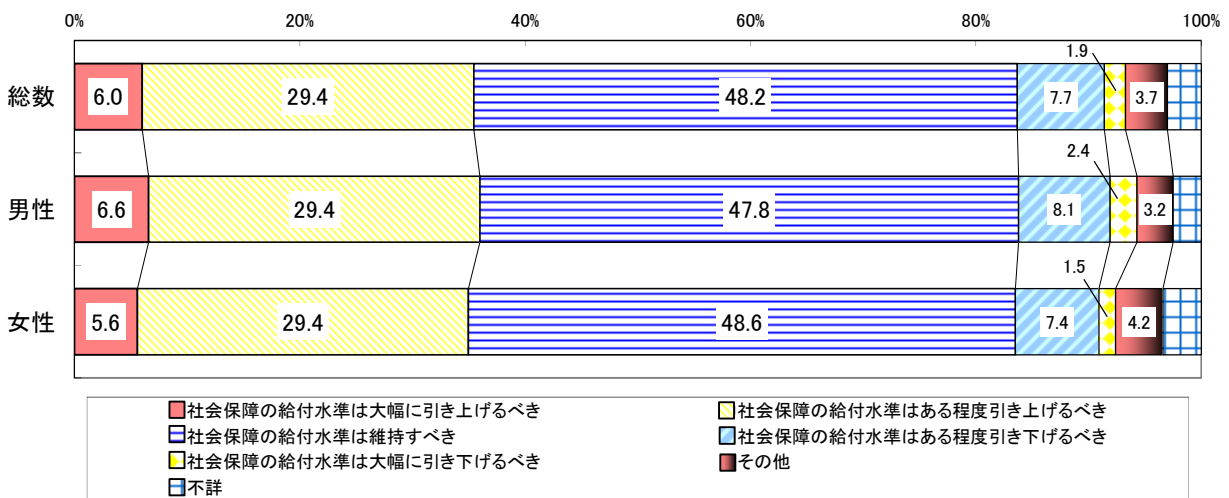
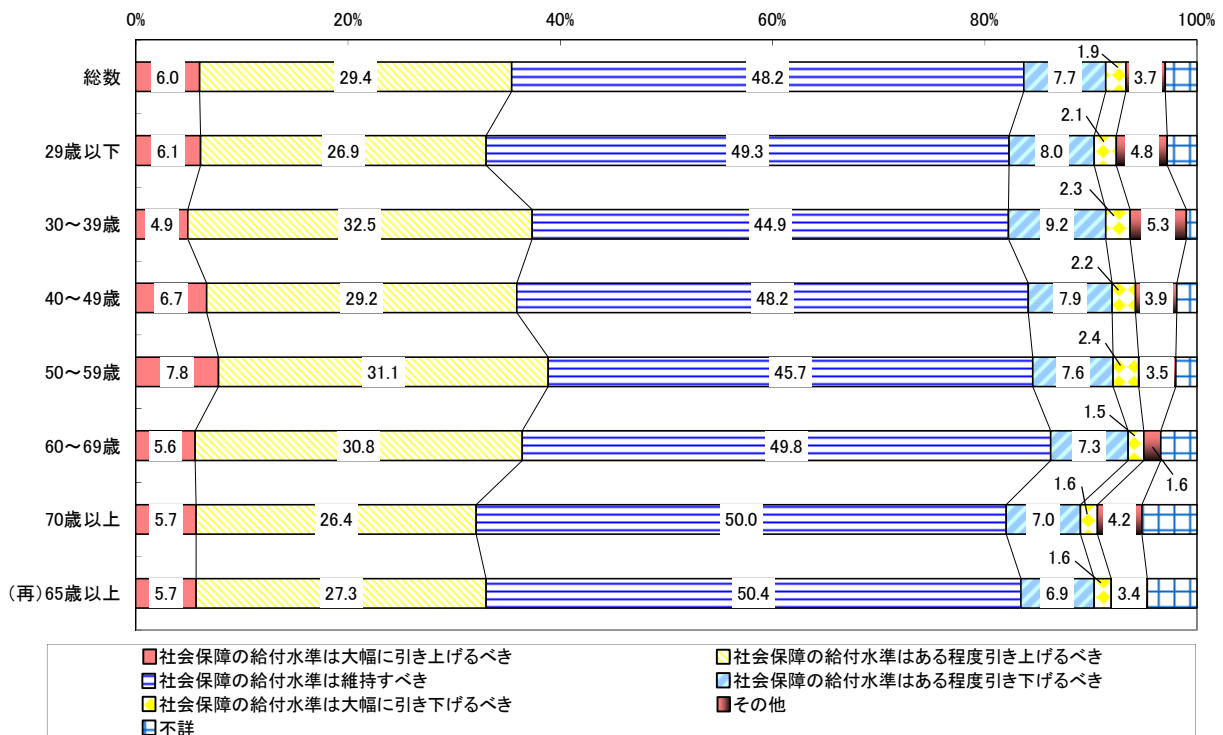


図20 年齢階級別にみた今後の社会保障の給付の水準についての考え方



《負担の水準についての考え方》

- ・「現状程度の負担とすべき」が4割強

今後の社会保障の負担の水準について、どのようにあるべきだと思うかについては、「現状程度の負担とすべき」が最も多く43.6%、次いで「ある程度負担は減らすべき」が21.8%、「ある程度の負担増はやむを得ない」が20.7%となっている。

性別にみると、男性女性ともに「現状程度の負担とすべき」の割合が最も多いが、次に多いのは、男性では「ある程度の負担増はやむを得ない」であるのに対し、女性では「ある程度負担は減らすべき」となっている。

年齢階級別にみると、高年齢層に比べ若い世代で負担を減らすべきと考える割合が多い。

図 2 1 今後の社会保障の負担の水準についての考え方

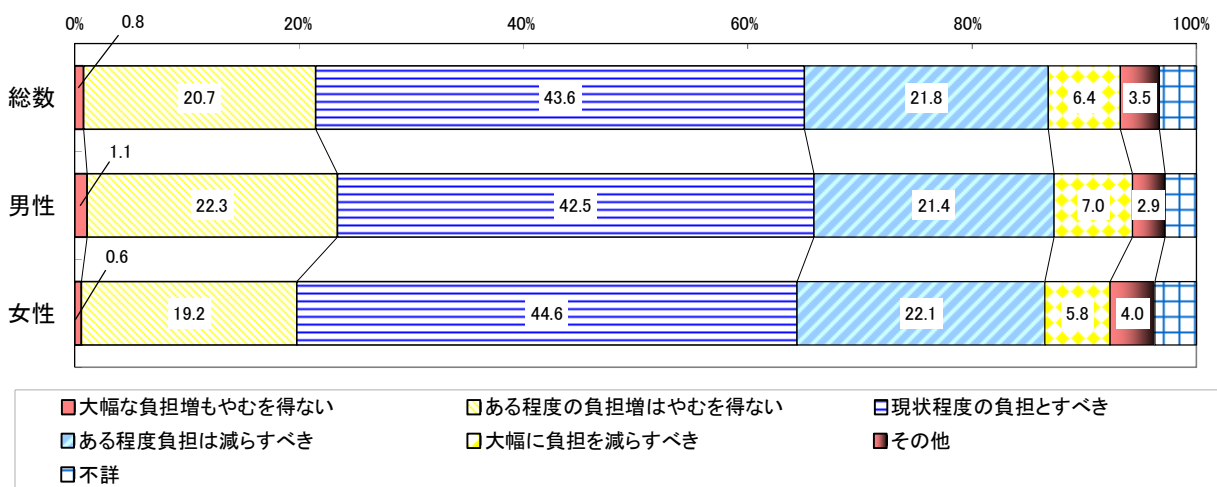
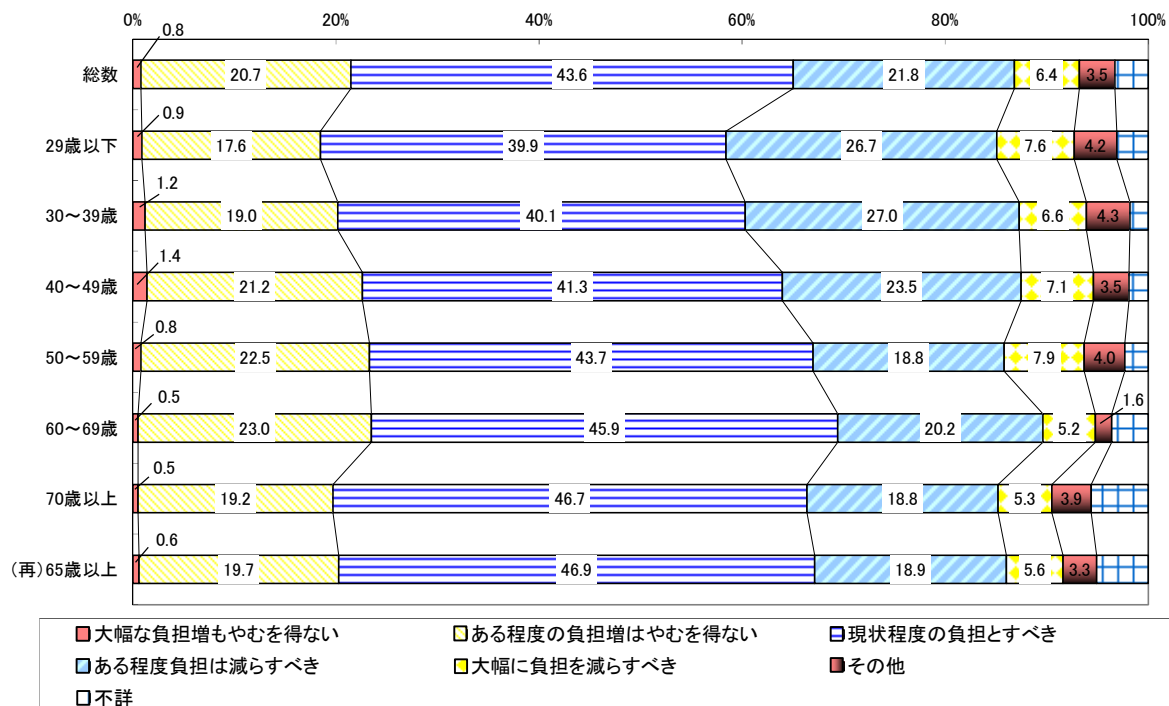


図 2 2 年齢階級別にみた今後の社会保障の負担の水準についての考え方



《給付と負担の水準についての考え方》

- ・「給付水準は維持すべき」と「現状程度の負担とすべき」の組合せを選択した者が3割

今後の社会保障の給付と負担の水準について、それぞれどのようにあるべきだと思うかについての組合せをみると、「給付水準は維持すべき」と「現状程度の負担とすべき」の組合せを選択した者の割合が最も多く30.0%、次いで「給付水準はある程度引き上げるべき」と「現状程度の負担とすべき」の組合せを選択した者が10.4%、「給付水準はある程度引き上げるべき」と「ある程度の負担増はやむを得ない」の組合せを選択した者が9.9%となっている。

表6 今後の社会保障の給付と負担の水準についての考え方の組合せ

(単位:%)

		負担の水準							
		総数	大幅な負担増もやむを得ない	ある程度の負担増はやむを得ない	現状程度の負担とすべき	ある程度負担は減らすべき	大幅に負担を減らすべき	その他	不詳
給付の水準	総数	100.0	0.8	20.7	43.6	21.8	6.4	3.5	3.3
	社会保障の給付水準は大幅に引き上げるべき	6.0	0.5	1.0	0.9	1.4	2.2	0.1	0.0
	社会保障の給付水準はある程度引き上げるべき	29.4	0.2	9.9	10.4	7.4	0.9	0.3	0.2
	社会保障の給付水準は維持すべき	48.2	0.0	8.3	30.0	8.0	1.1	0.5	0.4
	社会保障の給付水準はある程度引き下げるべき	7.7	0.0	1.1	1.7	4.1	0.6	0.1	0.0
	社会保障の給付水準は大幅に引き下げるべき	1.9	0.1	0.0	0.1	0.4	1.3	0.0	0.0
	その他	3.7	0.0	0.2	0.4	0.3	0.2	2.5	0.1
	不詳	3.0	-	0.1	0.1	0.2	0.1	-	2.5

5. 手助けや見守りを行うに当たっての公的なサービス(介護保険など)の満足度

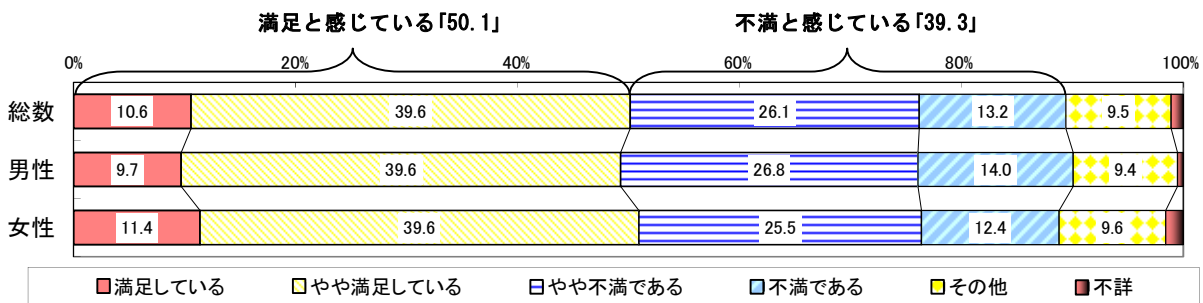
- ・満足と感じている者が5割、不満と感じている者が4割

現在、自分又は自分の配偶者の親に対して手助けや見守りを行っている者を対象に、手助けや見守りを行うに当たって、公的なサービス(介護保険など)について満足しているかをみると、「やや満足している」が最も多く39.6%、次いで「やや不満である」が26.1%、「不満である」が13.2%、「満足している」が10.6%となっている。

項目をまとめて満足度をみると、満足と感じている(「満足している」「やや満足している」)者が50.1%であるのに対し、不満と感じている(「不満である」「やや不満である」)者が39.3%となっており、満足と感じている者の割合が多くなっている。

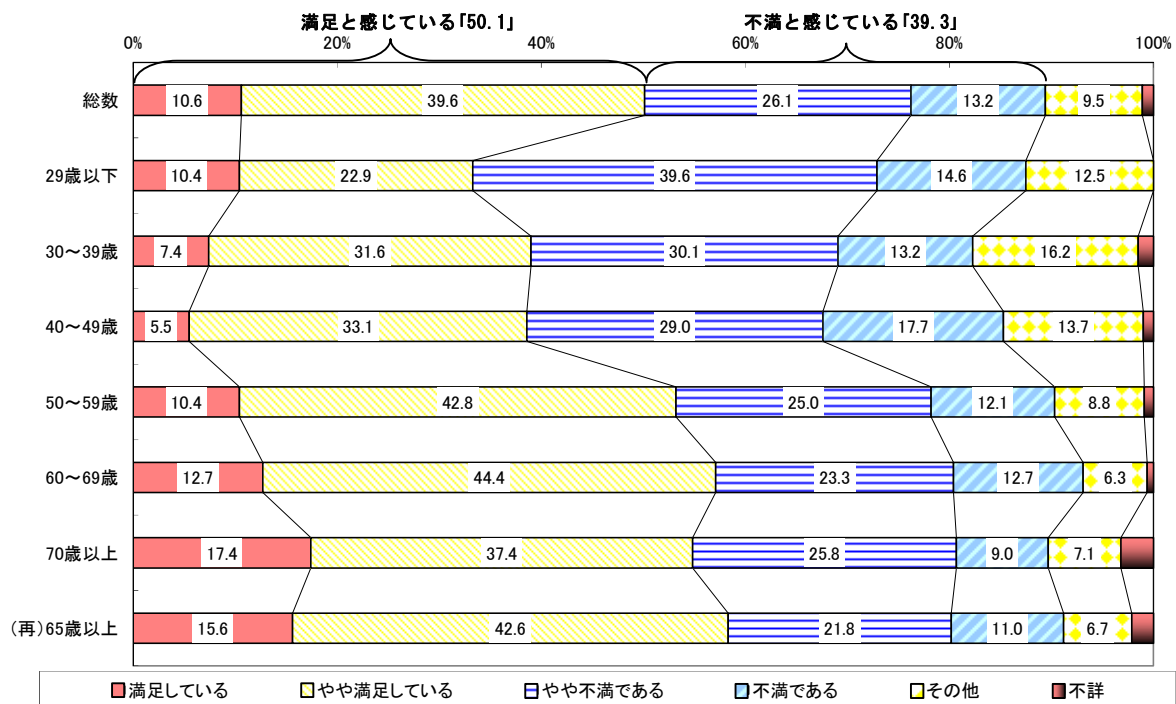
年齢階級別にみると、若い世代に比べ、50歳以上の年齢階級で満足と感じている者の割合が多い。

図23 手助けや見守りを行うに当たっての公的なサービス(介護保険など)の満足度



注：集計対象は、現在、自分または自分の配偶者の親に対して、手助けや見守りを「している」と回答した者である。

図24 年齢階級別にみた手助けや見守りを行うに当たっての公的なサービス(介護保険など)の満足度



注：集計対象は、現在、自分または自分の配偶者の親に対して、手助けや見守りを「している」と回答した者である。

次に、手助けや見守りが必要となる対象者の人数別にみると、1人又は2人の場合には「やや満足している」が最も多く、3人以上の場合には「やや不満である」が最も多くなっている。

また、満足と感じている者と不満と感じている者の割合を比べると、1人又は2人の場合には満足と感じている者の割合が多いのに対し、3人以上の場合には不満と感じている者の割合が多くなっている。

表7 手助けや見守りの対象者の人数別にみた公的なサービス(介護保険など)の満足度

(単位:%)

		総数	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	その他	不詳
総数		100.0	10.6	39.6	26.1	13.2	9.5	1.1
手助けや 見守りの 対象者	1人	100.0	12.6	41.8	23.9	11.7	9.0	0.9
	2人	100.0	6.6	38.9	29.1	14.7	10.8	-
	3人以上	100.0	7.4	29.6	34.8	17.0	11.1	-
	不詳	100.0	5.3	18.4	26.3	23.7	5.3	21.1

注：集計対象は、現在、自分または自分の配偶者の親に対して、手助けや見守りを「している」と回答した者である。

6. 子育て支援に関する公的なサービス(保育所など)の満足度

・満足と感じている者と不満と感じている者はともに5割弱

未就学児がいる者を対象に、子育て支援に関する公的なサービス(保育所など)について満足しているかをみると、「やや満足している」が最も多く33.4%、次いで「やや不満である」が29.5%、「不満である」が19.1%、「満足している」が13.1%となっている。

項目をまとめて満足度をみると、満足と感じている(「満足している」「やや満足している」)者が46.4%、不満と感じている(「不満である」「やや不満である」)者が48.6%となっており、若干ではあるが不満と感じている者が多い。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるほど満足と感じている者の割合が多くなり、逆に不満と感じている者の割合が少なくなる傾向が見られる。

図25 子育て支援に関する公的なサービス(保育所など)の満足度

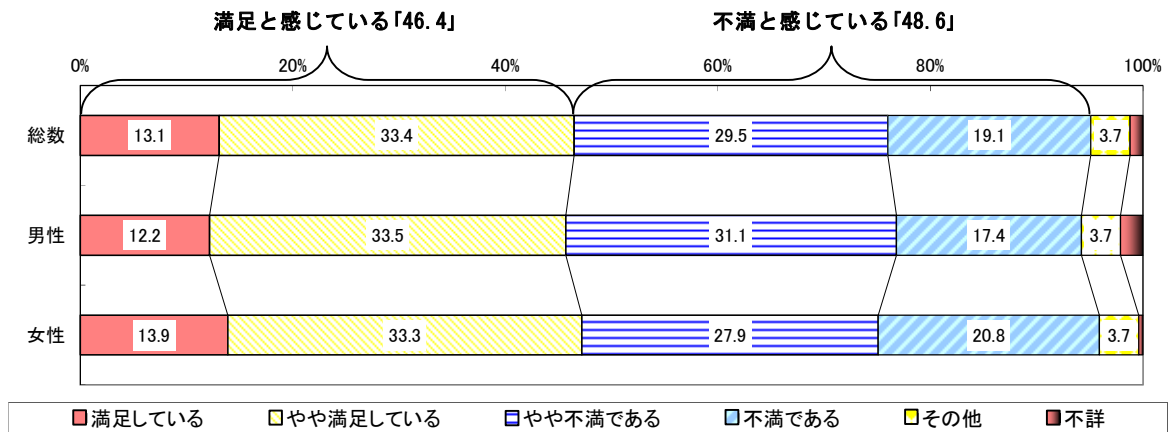
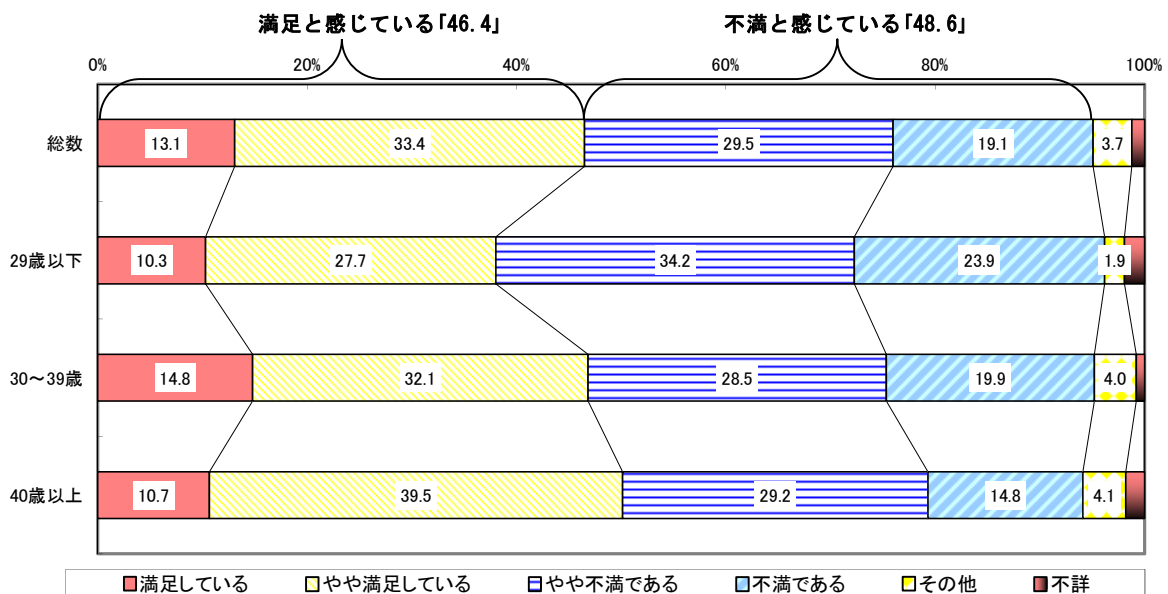


図26 年齢階級別にみた子育て支援に関する公的なサービス(保育所など)の満足度



次に、未就学児の人数別にみると、1人の場合、2人以上の場合ともに、「やや満足している」が最も多く、次いで「やや不満である」となっている。

また、未就学児が1人の場合には、満足と感じている者の割合(45.1%)より不満と感じている者の割合(50.1%)の方が多いが、2人以上の場合には、満足と感じている者の割合(49.5%)より不満と感じている者の割合(45.0%)の方が若干少なくなっており、未就学児の人数が多い場合の方が、満足度が若干高くなっている。

表8 未就学児の人数別にみた子育て支援に関する公的なサービス(保育所など)の満足度

(単位:%)

		総数	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	その他	不詳
総数		100.0	13.1	33.4	29.5	19.1	3.7	1.2
未就学児	1人	100.0	11.3	33.8	30.5	19.7	3.6	1.1
	2人以上	100.0	17.3	32.3	27.2	17.9	3.8	1.6

注：集計対象は、未就学児がいると回答した者である。

統計表

第1表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた普段どの程度社会保障制度に関する情報に接しているか別

(単位:%)

	総数	積極的にそれらの情報を集めている	その様な情報を見かけた時には、興味を持って見るようにしている	あまり興味はないが、時々その様な情報に接することはある	ほとんどその様な情報に接することはない	その他	不詳
総数	100.0	4.3	51.9	27.5	14.8	0.8	0.7
29歳以下	100.0	2.7	25.9	37.8	31.7	0.8	1.1
30～39歳	100.0	2.9	44.8	34.1	17.3	0.6	0.3
40～49歳	100.0	3.9	49.1	32.2	14.0	0.5	0.4
50～59歳	100.0	4.5	58.5	25.8	10.0	0.6	0.5
60～69歳	100.0	5.7	63.7	20.6	8.4	0.7	0.8
70歳以上	100.0	4.5	53.6	23.2	16.1	1.4	1.1
(再)65歳以上	100.0	5.0	56.8	22.2	13.8	1.3	1.0
男性	100.0	4.6	46.8	30.1	17.0	0.7	0.7
29歳以下	100.0	2.8	23.3	36.2	35.7	0.9	1.2
30～39歳	100.0	2.8	36.0	38.4	22.0	0.6	0.3
40～49歳	100.0	3.5	39.1	38.0	18.6	0.5	0.4
50～59歳	100.0	5.4	49.5	30.5	13.7	0.4	0.6
60～69歳	100.0	6.6	58.2	23.1	10.6	0.7	0.9
70歳以上	100.0	5.2	56.7	22.8	13.2	1.1	1.0
(再)65歳以上	100.0	5.8	57.7	22.5	12.4	0.9	0.8
女性	100.0	3.9	56.5	25.1	12.9	0.9	0.7
29歳以下	100.0	2.7	28.3	39.3	28.1	0.6	1.0
30～39歳	100.0	3.0	53.1	30.0	12.9	0.7	0.3
40～49歳	100.0	4.3	58.5	26.7	9.6	0.5	0.3
50～59歳	100.0	3.8	66.2	21.9	6.9	0.8	0.4
60～69歳	100.0	5.0	69.0	18.1	6.4	0.7	0.7
70歳以上	100.0	4.0	51.3	23.5	18.4	1.7	1.2
(再)65歳以上	100.0	4.4	56.0	21.9	15.0	1.5	1.2

第2表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報をどのような方法で入手することが多いか別
(複数回答)

(単位:%)

	総数	政府機関や地方自治体の窓口などで直接聞く	政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物	政府機関や地方自治体のホームページ	新聞	テレビ	書籍	一般のウェブページ(ホームページ)	その他	その様な情報を入手することはない	不詳
総数	100.0	5.1	25.5	6.9	54.2	69.7	3.2	9.4	2.8	7.4	0.7
29歳以下	100.0	4.5	12.3	9.5	24.9	58.1	3.5	19.3	3.7	18.1	1.1
30～39歳	100.0	6.2	24.1	10.4	34.8	65.4	2.1	17.7	2.6	8.6	0.2
40～49歳	100.0	4.3	23.6	9.5	49.0	67.6	3.0	14.5	2.6	7.5	0.4
50～59歳	100.0	6.0	25.6	8.6	62.7	72.6	4.8	9.6	3.2	4.6	0.5
60～69歳	100.0	6.5	30.4	4.6	69.8	76.3	3.5	4.7	2.0	3.4	0.6
70歳以上	100.0	3.5	28.2	3.0	61.8	70.5	2.5	1.0	3.1	7.7	1.2
(再)65歳以上	100.0	4.2	29.5	3.2	64.5	72.0	2.8	1.6	2.8	6.6	1.1
男性	100.0	4.4	23.2	7.8	55.9	66.8	3.5	11.6	2.5	7.8	0.6
29歳以下	100.0	3.7	7.8	10.1	24.0	54.4	3.9	21.9	3.0	18.7	1.2
30～39歳	100.0	4.2	18.6	10.2	36.4	61.2	2.1	21.1	2.8	12.1	0.3
40～49歳	100.0	3.3	17.6	10.0	49.3	64.3	3.3	16.0	2.2	9.2	0.2
50～59歳	100.0	4.2	20.5	9.3	59.7	69.3	4.8	12.3	3.1	6.1	0.6
60～69歳	100.0	6.3	28.7	6.0	71.3	73.5	3.8	6.8	1.8	3.7	0.7
70歳以上	100.0	4.0	33.1	4.1	69.5	69.4	3.3	1.7	2.5	4.8	0.8
(再)65歳以上	100.0	4.7	32.8	4.4	70.8	70.3	3.5	2.6	2.4	4.4	0.8
女性	100.0	5.7	27.5	6.1	52.7	72.3	2.9	7.5	3.1	7.0	0.7
29歳以下	100.0	5.2	16.3	8.9	25.8	61.4	3.1	16.9	4.3	17.6	1.0
30～39歳	100.0	8.0	29.2	10.5	33.2	69.4	2.1	14.4	2.5	5.3	0.1
40～49歳	100.0	5.1	29.3	9.1	48.7	70.7	2.7	13.1	2.9	5.9	0.6
50～59歳	100.0	7.5	29.9	8.0	65.2	75.4	4.9	7.4	3.3	3.3	0.5
60～69歳	100.0	6.8	32.0	3.2	68.4	79.0	3.3	2.6	2.2	3.2	0.6
70歳以上	100.0	3.1	24.4	2.1	55.7	71.4	1.9	0.4	3.5	10.0	1.4
(再)65歳以上	100.0	3.7	26.7	2.2	59.3	73.4	2.2	0.7	3.1	8.3	1.3

第3表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関して今後どういった形での情報提供を望むか別
(複数回答)

(単位:%)

	総数	政府機関や 地方自治体の 窓口などで直接 情報を得たい	政府機関や 地方自治体の パンフレット などの刊行物	政府機関や 地方自治体の ホームページ	新聞	テレビ	書籍	一般の ウェブページ (ホームページ)	特に情報を 得たいとは思 わない	その他	不詳
総数	100.0	9.3	41.2	14.9	51.7	62.7	3.4	12.4	5.1	3.2	1.7
29歳以下	100.0	7.6	25.6	21.0	29.4	59.2	3.7	25.9	10.6	1.9	1.5
30～39歳	100.0	8.9	38.5	23.9	36.0	61.2	2.2	21.6	4.8	4.5	0.4
40～49歳	100.0	9.3	41.0	21.1	46.6	60.6	3.7	19.9	4.4	3.4	1.8
50～59歳	100.0	12.3	46.6	18.5	56.8	63.2	4.8	13.8	3.2	3.2	1.2
60～69歳	100.0	10.9	47.6	10.1	64.3	65.2	3.5	5.9	3.5	1.9	1.7
70歳以上	100.0	7.0	39.8	4.6	59.0	64.0	2.7	1.2	6.2	3.8	2.8
(再)65歳以上	100.0	8.0	42.1	5.6	60.8	64.7	3.1	1.9	5.3	3.4	2.6
男性	100.0	8.7	38.4	16.6	52.8	60.0	3.8	14.0	5.5	3.3	1.5
29歳以下	100.0	6.2	22.4	21.2	30.6	53.5	3.9	23.5	13.6	2.1	1.8
30～39歳	100.0	7.6	30.3	23.4	36.6	59.4	1.8	24.6	6.8	4.7	0.6
40～49歳	100.0	9.1	33.6	21.8	44.3	55.7	4.5	20.7	6.1	4.0	2.0
50～59歳	100.0	10.0	42.7	21.2	54.0	59.8	5.1	15.5	3.9	3.8	1.1
60～69歳	100.0	10.3	43.6	13.2	65.3	62.6	4.2	8.8	4.0	2.4	1.6
70歳以上	100.0	7.8	46.1	6.6	66.3	63.8	3.1	1.9	3.2	3.0	1.9
(再)65歳以上	100.0	8.4	45.9	7.8	67.2	63.8	3.8	3.1	3.5	2.9	1.9
女性	100.0	9.9	43.6	13.3	50.7	65.2	3.0	11.0	4.8	3.1	1.8
29歳以下	100.0	8.9	28.5	20.9	28.3	64.3	3.5	28.1	7.9	1.7	1.2
30～39歳	100.0	10.1	46.2	24.4	35.4	62.8	2.5	18.7	2.9	4.2	0.3
40～49歳	100.0	9.5	48.0	20.4	48.7	65.2	2.9	19.2	2.9	2.9	1.6
50～59歳	100.0	14.3	49.8	16.3	59.2	66.2	4.5	12.4	2.5	2.7	1.2
60～69歳	100.0	11.4	51.4	7.1	63.2	67.7	2.8	3.1	3.0	1.5	1.8
70歳以上	100.0	6.4	34.7	3.0	53.2	64.2	2.4	0.6	8.6	4.5	3.5
(再)65歳以上	100.0	7.6	39.0	3.8	55.5	65.5	2.5	0.9	6.8	3.7	3.1

第4表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報の内容及び情報提供の満足度別

(単位:%)

	総数	満足している	やや満足 している	やや不満 である	不満である	その他	不詳
総数	100.0	2.7	36.0	35.9	18.6	5.4	1.4
29歳以下	100.0	2.2	34.4	32.9	17.4	12.0	1.1
30～39歳	100.0	1.9	31.3	39.5	21.1	5.8	0.3
40～49歳	100.0	2.5	32.1	38.6	20.9	4.7	1.3
50～59歳	100.0	1.6	30.4	39.2	24.5	3.3	1.0
60～69歳	100.0	3.0	35.8	38.3	17.4	4.0	1.4
70歳以上	100.0	3.9	46.0	28.7	13.1	5.8	2.4
(再)65歳以上	100.0	3.6	43.5	31.3	14.1	5.4	2.1
男性	100.0	3.2	34.4	35.0	20.9	5.1	1.3
29歳以下	100.0	2.8	33.2	30.9	19.4	12.2	1.6
30～39歳	100.0	2.9	29.1	36.6	24.6	6.4	0.4
40～49歳	100.0	2.7	30.8	37.5	22.6	5.1	1.4
50～59歳	100.0	2.1	29.1	35.3	29.3	3.1	1.1
60～69歳	100.0	2.9	33.3	38.3	19.8	4.1	1.4
70歳以上	100.0	4.8	45.9	30.5	13.3	3.8	1.8
(再)65歳以上	100.0	4.2	42.5	32.5	14.9	3.9	1.9
女性	100.0	2.3	37.5	36.6	16.5	5.7	1.4
29歳以下	100.0	1.7	35.5	34.7	15.7	11.8	0.6
30～39歳	100.0	0.9	33.5	42.3	17.8	5.3	0.3
40～49歳	100.0	2.2	33.3	39.6	19.3	4.4	1.2
50～59歳	100.0	1.1	31.6	42.6	20.5	3.5	0.8
60～69歳	100.0	3.2	38.3	38.3	15.1	3.8	1.4
70歳以上	100.0	3.2	46.2	27.4	12.9	7.4	2.9
(再)65歳以上	100.0	3.0	44.4	30.3	13.4	6.7	2.3

第5表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報の内容及び情報提供が不満である理由別
(複数回答)

(単位:%)

	総数	どのように情報を 手に入ればよいか がわからない	得られる 情報の量が 少ない	得られる 情報が 正確でない	得られる 情報が 分かりづらい	その他	不詳
総数	100.0	27.8	31.8	15.3	66.8	2.6	0.2
29歳以下	100.0	38.1	24.5	15.8	64.3	3.0	0.2
30～39歳	100.0	33.9	32.0	15.1	67.5	2.1	-
40～49歳	100.0	28.9	31.0	15.1	68.2	3.1	-
50～59歳	100.0	26.8	35.0	18.5	68.5	2.7	-
60～69歳	100.0	21.2	35.4	16.7	68.3	1.6	0.3
70歳以上	100.0	25.1	28.3	10.7	62.6	3.4	0.4
(再)65歳以上	100.0	22.6	30.7	12.4	63.9	2.9	0.4
男性	100.0	25.4	34.4	17.0	64.3	3.0	0.1
29歳以下	100.0	32.6	25.2	17.9	61.5	4.1	-
30～39歳	100.0	32.5	34.1	18.0	63.4	3.0	-
40～49歳	100.0	25.0	32.9	15.9	65.3	3.1	-
50～59歳	100.0	25.3	37.6	20.3	66.2	3.3	-
60～69歳	100.0	19.9	37.4	17.5	66.2	1.7	0.2
70歳以上	100.0	22.7	33.5	13.1	61.2	3.9	0.2
(再)65歳以上	100.0	20.1	35.4	14.7	62.7	3.3	0.3
女性	100.0	30.0	29.3	13.7	69.2	2.2	0.2
29歳以下	100.0	43.0	23.8	13.9	66.8	2.0	0.4
30～39歳	100.0	35.3	30.0	12.3	71.5	1.3	-
40～49歳	100.0	32.5	29.2	14.4	71.0	3.2	-
50～59歳	100.0	28.2	32.7	17.0	70.5	2.3	-
60～69歳	100.0	22.6	33.3	15.8	70.5	1.6	0.5
70歳以上	100.0	27.1	23.8	8.6	63.9	2.9	0.5
(再)65歳以上	100.0	24.7	26.4	10.3	65.0	2.4	0.5

注：集計対象は、社会保障制度に関して普段得ている情報の内容及、政府からの社会保障制度に関する情報提供の状況について、「やや不満である」または「不満である」と回答した者である。

第6表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する授業を受けた経験別

(単位:%)

	総数	ある	ない	覚えていない	不詳
総数	100.0	10.1	44.2	44.5	1.1
29歳以下	100.0	25.9	26.9	46.3	0.9
30～39歳	100.0	14.1	33.4	52.0	0.5
40～49歳	100.0	10.1	36.5	53.0	0.4
50～59歳	100.0	10.8	42.4	46.3	0.6
60～69歳	100.0	7.2	49.1	42.7	1.0
70歳以上	100.0	3.9	59.5	34.0	2.6
(再)65歳以上	100.0	4.7	57.2	35.9	2.2
男性	100.0	9.5	47.4	42.0	1.1
29歳以下	100.0	22.6	31.3	45.2	0.9
30～39歳	100.0	11.1	38.0	50.2	0.7
40～49歳	100.0	7.9	41.3	50.2	0.5
50～59歳	100.0	11.0	45.7	43.0	0.3
60～69歳	100.0	7.2	51.9	39.7	1.2
70歳以上	100.0	5.4	61.7	30.6	2.3
(再)65歳以上	100.0	5.8	59.6	32.5	2.1
女性	100.0	10.7	41.3	46.8	1.2
29歳以下	100.0	28.9	22.9	47.3	0.8
30～39歳	100.0	16.9	29.0	53.8	0.4
40～49歳	100.0	12.2	32.1	55.5	0.2
50～59歳	100.0	10.6	39.6	49.0	0.8
60～69歳	100.0	7.2	46.4	45.6	0.8
70歳以上	100.0	2.8	57.7	36.7	2.8
(再)65歳以上	100.0	3.8	55.2	38.6	2.3

第7表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する授業内容の記憶別

(単位:%)

	総数	よく覚えている	やや覚えている	あまり覚えていない	全く覚えていない	その他	不詳
総数	100.0	4.7	33.3	53.8	7.7	0.1	0.4
29歳以下	100.0	5.5	39.5	47.1	8.0	-	-
30～39歳	100.0	1.9	27.4	62.5	8.2	-	-
40～49歳	100.0	3.6	27.2	60.4	8.3	0.6	-
50～59歳	100.0	4.8	31.7	55.1	8.4	-	-
60～69歳	100.0	5.3	35.5	52.6	5.3	-	1.3
70歳以上	100.0	9.5	41.1	40.0	7.4	-	2.1
(再)65歳以上	100.0	9.3	40.4	44.1	5.0	-	1.2
男性	100.0	5.3	33.2	54.2	6.9	-	0.4
29歳以下	100.0	5.1	35.7	50.0	9.2	-	-
30～39歳	100.0	3.8	30.0	62.5	3.8	-	-
40～49歳	100.0	6.3	23.4	62.5	7.8	-	-
50～59歳	100.0	3.8	34.6	52.6	9.0	-	-
60～69歳	100.0	5.3	34.7	53.3	6.7	-	-
70歳以上	100.0	8.8	40.4	43.9	3.5	-	3.5
(再)65歳以上	100.0	9.0	40.4	46.1	2.2	-	2.2
女性	100.0	4.2	33.4	53.6	8.3	0.2	0.3
29歳以下	100.0	5.7	42.1	45.0	7.1	-	-
30～39歳	100.0	0.8	25.8	62.5	10.9	-	-
40～49歳	100.0	1.9	29.5	59.0	8.6	1.0	-
50～59歳	100.0	5.6	29.2	57.3	7.9	-	-
60～69歳	100.0	5.2	36.4	51.9	3.9	-	2.6
70歳以上	100.0	10.5	42.1	34.2	13.2	-	-
(再)65歳以上	100.0	9.7	40.3	41.7	8.3	-	-

注：集計対象は、学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験が「ある」と回答した者である。

第8表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する授業を受けた学校別（複数回答）

(単位:%)

	総数	小学校	中学校	高校、 専門学校	大学、 短期大学	その他	覚えていない	不詳
総数	100.0	5.2	37.8	57.0	35.1	1.7	3.8	0.2
29歳以下	100.0	5.9	27.3	58.0	45.8	-	3.8	-
30～39歳	100.0	4.3	35.1	58.2	37.0	1.4	4.3	-
40～49歳	100.0	7.7	41.4	61.5	35.5	0.6	3.6	-
50～59歳	100.0	4.8	42.5	58.7	31.1	1.2	4.2	0.6
60～69歳	100.0	4.6	47.4	54.6	25.7	3.3	2.6	-
70歳以上	100.0	3.2	40.0	45.3	25.3	7.4	4.2	1.1
(再)65歳以上	100.0	3.1	44.7	47.8	26.7	5.0	3.7	0.6
男性	100.0	6.0	39.4	54.2	35.2	1.3	4.4	0.4
29歳以下	100.0	5.1	26.5	60.2	39.8	-	5.1	-
30～39歳	100.0	6.3	40.0	58.8	35.0	-	3.8	-
40～49歳	100.0	12.5	46.9	51.6	32.8	-	7.8	-
50～59歳	100.0	5.1	44.9	56.4	34.6	1.3	3.8	1.3
60～69歳	100.0	4.0	48.0	46.7	34.7	4.0	2.7	-
70歳以上	100.0	3.5	33.3	47.4	31.6	3.5	3.5	1.8
(再)65歳以上	100.0	3.4	40.4	47.2	32.6	3.4	3.4	1.1
女性	100.0	4.7	36.6	59.3	35.0	2.1	3.3	-
29歳以下	100.0	6.4	27.9	56.4	50.0	-	2.9	-
30～39歳	100.0	3.1	32.0	57.8	38.3	2.3	4.7	-
40～49歳	100.0	4.8	38.1	67.6	37.1	1.0	1.0	-
50～59歳	100.0	4.5	40.4	60.7	28.1	1.1	4.5	-
60～69歳	100.0	5.2	46.8	62.3	16.9	2.6	2.6	-
70歳以上	100.0	2.6	50.0	42.1	15.8	13.2	5.3	-
(再)65歳以上	100.0	2.8	50.0	48.6	19.4	6.9	4.2	-

注：集計対象は、学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験が「ある」と回答した者である。

第9表 世帯員数の構成割合、性・授業を受けた学校別にみた社会保障制度に関する授業内容の記憶別

(単位:%)

	総数	よく覚えている	やや覚えている	あまり覚えていない	全く覚えていない	その他	不詳
総数	100.0	4.7	33.3	53.8	7.7	0.1	0.4
小学校	100.0	5.6	31.5	53.7	9.3	-	-
中学校	100.0	3.6	31.4	60.4	4.4	-	0.3
高校、専門学校	100.0	3.6	33.2	56.6	6.1	0.2	0.3
大学、短期大学	100.0	7.5	41.3	43.8	7.2	0.3	-
その他	100.0	22.2	44.4	22.2	11.1	-	-
覚えていない	100.0	2.6	7.7	59.0	30.8	-	-
男性	100.0	5.3	33.2	54.2	6.9	-	0.4
小学校	100.0	7.4	33.3	48.1	11.1	-	-
中学校	100.0	5.1	28.1	62.9	3.9	-	-
高校、専門学校	100.0	4.5	32.2	57.1	5.7	-	0.4
大学、短期大学	100.0	8.2	44.0	42.8	5.0	-	-
その他	100.0	33.3	16.7	50.0	-	-	-
覚えていない	100.0	5.0	5.0	60.0	30.0	-	-
女性	100.0	4.2	33.4	53.6	8.3	0.2	0.3
小学校	100.0	3.7	29.6	59.3	7.4	-	-
中学校	100.0	2.4	34.1	58.3	4.7	-	0.5
高校、専門学校	100.0	2.9	33.9	56.1	6.4	0.3	0.3
大学、短期大学	100.0	6.9	39.1	44.6	8.9	0.5	-
その他	100.0	16.7	58.3	8.3	16.7	-	-
覚えていない	100.0	-	10.5	57.9	31.6	-	-

注：集計対象は、学生の時に社会保障制度に関する授業を受けた経験が「ある」と回答した者である。学校別の数値は、各学校で授業を受けたことがある者（複数回答）を100%としている。

第10表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野別（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	高齢者医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	64.5	51.7	36.6	40.6	15.0	10.6	5.5	30.0	0.5	5.8
29歳以下	100.0	45.2	27.8	60.5	40.3	17.5	11.4	5.0	48.9	0.5	5.0
30～39歳	100.0	57.2	34.1	64.1	40.7	14.3	8.9	3.7	37.5	0.5	3.8
40～49歳	100.0	67.2	47.0	44.3	40.9	12.8	11.6	5.2	34.7	0.4	3.4
50～59歳	100.0	72.0	54.8	28.9	41.1	13.2	10.9	6.1	37.3	0.4	4.1
60～69歳	100.0	69.5	59.1	29.8	40.1	15.4	11.0	6.2	26.7	0.4	5.2
70歳以上	100.0	65.1	66.4	16.2	40.6	16.6	10.2	6.2	13.3	0.8	10.7
(再)65歳以上	100.0	66.1	64.6	19.2	40.4	15.9	10.3	6.4	16.4	0.7	9.4
男性	100.0	63.7	49.2	36.2	40.6	16.0	10.5	5.9	30.9	0.5	6.1
29歳以下	100.0	41.9	22.4	54.8	41.7	20.0	9.4	4.6	53.5	0.7	5.8
30～39歳	100.0	56.3	30.6	62.6	40.8	15.0	8.1	4.3	39.4	0.1	4.7
40～49歳	100.0	65.9	45.0	45.3	40.3	12.4	11.4	4.8	33.0	0.5	4.5
50～59歳	100.0	72.2	52.0	26.5	41.6	15.1	10.2	7.2	36.7	0.4	4.8
60～69歳	100.0	68.0	58.4	28.0	39.3	16.3	11.3	6.7	26.9	0.7	6.2
70歳以上	100.0	65.9	65.1	18.4	40.9	17.9	11.2	6.8	14.3	0.4	9.2
(再)65歳以上	100.0	66.2	63.3	20.2	41.0	17.2	10.8	7.1	17.3	0.5	8.6
女性	100.0	65.2	54.0	36.9	40.6	14.1	10.8	5.2	29.3	0.6	5.6
29歳以下	100.0	48.1	32.6	65.5	39.0	15.3	13.2	5.4	44.8	0.4	4.3
30～39歳	100.0	58.1	37.4	65.5	40.6	13.7	9.6	3.0	35.7	0.8	2.9
40～49歳	100.0	68.5	48.9	43.4	41.3	13.2	11.7	5.6	36.4	0.3	2.4
50～59歳	100.0	71.8	57.1	30.9	40.8	11.7	11.4	5.1	37.8	0.4	3.6
60～69歳	100.0	70.9	59.9	31.5	40.8	14.6	10.8	5.6	26.6	0.2	4.2
70歳以上	100.0	64.5	67.5	14.5	40.3	15.6	9.5	5.8	12.5	1.2	11.9
(再)65歳以上	100.0	66.0	65.6	18.4	39.9	14.9	9.9	5.8	15.7	0.9	10.0

第11表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後、より効率的な給付やサービスにすべきと考える社会保障の分野別
(複数回答)

(単位:%)

	総数	老後の 所得保障 (年金)	高齢者医療 や介護	子ども・ 子育て支援	医療保険・ 医療供給 体制など	健康の 保持・促進	障害者 福祉	生活保護	雇用の確保 や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	41.5	41.5	31.7	40.4	18.5	15.9	14.7	26.0	0.5	10.4
29歳以下	100.0	37.9	29.7	46.1	38.0	17.4	14.8	16.0	35.7	0.4	8.1
30～39歳	100.0	43.5	33.8	49.1	38.5	17.9	14.3	15.5	29.5	0.3	6.6
40～49歳	100.0	46.4	40.4	34.4	41.3	16.4	15.5	16.7	30.4	0.4	6.9
50～59歳	100.0	46.4	47.7	28.0	41.3	17.3	15.6	17.2	28.3	0.2	7.7
60～69歳	100.0	39.9	45.7	27.9	42.4	20.4	17.0	13.2	25.7	0.6	10.0
70歳以上	100.0	36.4	43.7	19.4	39.4	19.8	16.5	12.0	15.8	0.9	18.2
(再)65歳以上	100.0	36.5	44.3	21.4	40.5	19.8	15.9	12.4	18.3	0.8	16.1
男性	100.0	41.4	39.3	30.2	39.8	18.4	15.7	17.3	26.1	0.4	10.9
29歳以下	100.0	35.3	27.4	41.5	37.3	19.6	13.1	17.5	34.3	0.7	10.1
30～39歳	100.0	42.3	31.2	45.9	39.2	17.9	13.4	17.9	30.0	0.1	8.1
40～49歳	100.0	46.2	36.7	32.5	39.3	15.5	16.5	20.5	29.4	0.2	8.6
50～59歳	100.0	46.1	42.6	24.4	39.8	16.8	15.7	20.9	28.3	0.1	9.3
60～69歳	100.0	41.2	44.4	26.1	40.9	20.2	17.3	15.4	24.9	0.4	11.1
70歳以上	100.0	36.6	44.4	21.0	40.5	19.6	16.4	13.8	17.2	0.7	15.9
(再)65歳以上	100.0	36.9	44.4	22.5	40.8	19.7	15.3	14.4	19.6	0.6	14.8
女性	100.0	41.6	43.5	33.0	40.9	18.6	15.9	12.4	25.9	0.6	10.0
29歳以下	100.0	40.3	31.8	50.2	38.6	15.5	16.3	14.7	37.0	0.2	6.2
30～39歳	100.0	44.7	36.4	52.2	37.8	17.9	15.3	13.2	29.0	0.4	5.1
40～49歳	100.0	46.7	43.9	36.1	43.1	17.3	14.6	13.1	31.2	0.5	5.3
50～59歳	100.0	46.7	52.1	31.0	42.7	17.8	15.6	14.1	28.2	0.2	6.3
60～69歳	100.0	38.5	47.0	29.6	43.8	20.5	16.7	11.0	26.6	0.7	9.0
70歳以上	100.0	36.3	43.2	18.1	38.6	20.0	16.7	10.5	14.7	1.0	20.0
(再)65歳以上	100.0	36.2	44.2	20.5	40.2	19.8	16.5	10.8	17.2	0.9	17.2

第12表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた税や社会保険料の負担水準の感じ方別

(単位:%)

	総数	生活が苦しくなるほど 重い	生活にはあまり 影響しないが 負担感がある	特に負担感はない	その他	不詳
総数	100.0	39.1	50.5	6.8	2.1	1.5
29歳以下	100.0	33.4	49.2	12.9	3.7	0.8
30～39歳	100.0	38.2	55.0	4.1	2.1	0.5
40～49歳	100.0	40.2	52.6	4.6	1.5	1.1
50～59歳	100.0	43.4	48.3	5.8	1.7	0.8
60～69歳	100.0	42.8	48.6	5.4	1.3	1.9
70歳以上	100.0	34.9	49.9	9.4	2.9	2.9
(再)65歳以上	100.0	37.2	49.7	7.9	2.4	2.7
男性	100.0	39.9	49.7	7.1	1.9	1.4
29歳以下	100.0	35.7	46.5	12.9	4.1	0.7
30～39歳	100.0	40.1	52.7	5.3	1.7	0.3
40～49歳	100.0	40.6	51.1	5.7	1.5	1.1
50～59歳	100.0	42.9	49.1	5.8	1.7	0.6
60～69歳	100.0	42.8	47.6	6.2	1.4	2.0
70歳以上	100.0	36.2	50.6	8.7	2.0	2.5
(再)65歳以上	100.0	38.4	49.9	7.4	1.6	2.7
女性	100.0	38.3	51.2	6.5	2.3	1.7
29歳以下	100.0	31.4	51.7	12.8	3.3	0.8
30～39歳	100.0	36.5	57.2	3.0	2.5	0.8
40～49歳	100.0	39.8	54.0	3.5	1.5	1.2
50～59歳	100.0	43.9	47.7	5.8	1.7	1.0
60～69歳	100.0	42.8	49.6	4.6	1.2	1.8
70歳以上	100.0	33.8	49.3	10.0	3.7	3.2
(再)65歳以上	100.0	36.2	49.6	8.4	3.0	2.8

第13表 世帯員数の構成割合、性・世帯の所得階級別にみた税や社会保険料の負担水準の感じ方別

(単位:%)

	総数	生活が苦しくなるほど重い	生活にはあまり影響しないが負担感がある	特に負担感はない	その他	不詳
総数	100.0	39.1	50.5	6.8	2.1	1.5
100万円未満	100.0	47.9	35.7	10.7	3.3	2.4
100万円～200万円未満	100.0	46.5	38.7	9.2	3.9	1.7
200万円～300万円未満	100.0	45.3	43.5	6.8	1.7	2.6
300万円～400万円未満	100.0	47.4	43.7	6.0	1.8	1.2
400万円～500万円未満	100.0	42.2	51.5	3.6	1.6	1.1
500万円～600万円未満	100.0	39.9	50.8	6.4	1.8	1.2
600万円～700万円未満	100.0	34.5	56.8	5.2	2.4	1.0
700万円～800万円未満	100.0	34.1	57.4	5.1	1.4	1.8
800万円～900万円未満	100.0	32.5	58.6	7.4	1.1	0.3
900万円～1,000万円未満	100.0	31.3	59.3	6.5	2.0	0.9
1,000万円以上	100.0	26.3	60.8	9.6	2.3	1.0
不詳	100.0	43.7	44.2	5.8	2.6	3.7
男性	100.0	39.9	49.7	7.1	1.9	1.4
100万円未満	100.0	50.8	28.0	15.3	3.4	2.5
100万円～200万円未満	100.0	45.8	38.5	9.5	4.3	1.8
200万円～300万円未満	100.0	47.6	41.7	5.9	2.0	2.9
300万円～400万円未満	100.0	48.5	42.6	6.3	1.5	1.0
400万円～500万円未満	100.0	43.6	50.1	3.6	1.5	1.2
500万円～600万円未満	100.0	38.6	51.6	6.9	1.2	1.7
600万円～700万円未満	100.0	36.1	55.4	6.2	1.8	0.5
700万円～800万円未満	100.0	35.0	57.6	4.8	1.9	0.8
800万円～900万円未満	100.0	36.1	54.4	8.4	1.0	-
900万円～1,000万円未満	100.0	33.3	57.7	7.0	1.4	0.5
1,000万円以上	100.0	27.0	60.0	10.4	2.0	0.7
不詳	100.0	44.6	43.8	6.1	1.8	3.7
女性	100.0	38.3	51.2	6.5	2.3	1.7
100万円未満	100.0	46.3	39.9	8.3	3.2	2.3
100万円～200万円未満	100.0	46.9	38.9	9.0	3.6	1.5
200万円～300万円未満	100.0	43.5	45.1	7.6	1.5	2.4
300万円～400万円未満	100.0	46.3	44.7	5.7	2.0	1.3
400万円～500万円未満	100.0	40.8	52.9	3.5	1.7	1.1
500万円～600万円未満	100.0	41.1	50.0	6.0	2.3	0.7
600万円～700万円未満	100.0	32.9	58.2	4.3	3.0	1.5
700万円～800万円未満	100.0	33.2	57.3	5.5	1.0	2.9
800万円～900万円未満	100.0	29.1	62.6	6.4	1.3	0.6
900万円～1,000万円未満	100.0	29.5	60.7	6.0	2.6	1.3
1,000万円以上	100.0	25.6	61.6	8.9	2.7	1.2
不詳	100.0	43.0	44.6	5.5	3.2	3.7

第14表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方別

(単位:%)

	総数	社会保障制度に必要な費用は、税で賅うべき	社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば税で賅うべき	社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば社会保険料で賅うべき	社会保障制度に必要な費用は、社会保険料で賅うべき	その他	不詳
総数	100.0	21.1	38.4	23.1	7.4	7.4	2.6
29歳以下	100.0	19.8	34.9	27.0	7.5	8.9	1.9
30～39歳	100.0	18.9	34.5	27.9	8.7	8.9	1.2
40～49歳	100.0	19.6	36.0	25.7	7.4	9.5	1.8
50～59歳	100.0	21.8	38.6	22.7	6.8	8.2	1.9
60～69歳	100.0	21.8	41.7	22.7	6.7	4.3	2.8
70歳以上	100.0	23.1	40.8	17.3	7.5	6.7	4.6
(再)65歳以上	100.0	22.9	41.1	18.7	7.2	6.0	4.1
男性	100.0	23.0	37.8	22.3	8.3	6.5	2.1
29歳以下	100.0	23.0	34.3	24.7	8.1	8.3	1.6
30～39歳	100.0	22.7	31.7	26.6	10.6	7.6	0.8
40～49歳	100.0	22.1	35.5	23.9	8.9	7.9	1.6
50～59歳	100.0	24.3	38.2	20.5	8.0	8.0	1.0
60～69歳	100.0	21.7	39.9	23.5	7.7	4.6	2.6
70歳以上	100.0	24.3	42.6	17.2	7.2	4.7	3.9
(再)65歳以上	100.0	23.7	41.4	18.8	7.5	4.8	3.8
女性	100.0	19.5	39.0	23.8	6.5	8.2	3.0
29歳以下	100.0	16.9	35.3	29.1	7.0	9.5	2.1
30～39歳	100.0	15.3	37.2	29.2	6.9	10.0	1.4
40～49歳	100.0	17.3	36.5	27.3	6.0	10.9	2.0
50～59歳	100.0	19.8	39.0	24.6	5.7	8.3	2.6
60～69歳	100.0	22.0	43.4	22.0	5.7	4.0	2.9
70歳以上	100.0	22.1	39.4	17.4	7.7	8.3	5.2
(再)65歳以上	100.0	22.2	40.8	18.5	7.0	6.9	4.4

第15表 世帯員数の構成割合、性・世帯の生活意識別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源についての考え方別

(単位:%)

	総数	社会保障制度に必要な費用は、税で賄うべき	社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば税で賄うべき	社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば社会保険料で賄うべき	社会保障制度に必要な費用は、社会保険料で賄うべき	その他	不詳
総数	100.0	21.1	38.4	23.1	7.4	7.4	2.6
大変苦しい	100.0	25.5	34.2	21.0	7.5	8.8	3.0
やや苦しい	100.0	21.0	39.7	23.6	6.7	6.8	2.2
普通	100.0	17.4	42.4	25.0	7.1	6.6	1.5
ややゆとりがある	100.0	17.7	36.5	27.0	8.5	8.9	1.4
大変ゆとりがある	100.0	16.3	23.3	32.6	16.3	9.3	2.3
不詳	100.0	23.6	33.6	18.2	9.7	7.5	7.3
男性	100.0	23.0	37.8	22.3	8.3	6.5	2.1
大変苦しい	100.0	27.9	33.2	19.1	8.8	8.5	2.6
やや苦しい	100.0	22.0	40.2	23.2	7.4	5.9	1.4
普通	100.0	19.2	41.4	24.5	8.0	5.4	1.4
ややゆとりがある	100.0	20.8	32.9	28.9	9.4	7.4	0.7
大変ゆとりがある	100.0	16.7	16.7	37.5	20.8	8.3	-
不詳	100.0	26.4	33.0	17.4	10.3	6.1	6.9
女性	100.0	19.5	39.0	23.8	6.5	8.2	3.0
大変苦しい	100.0	23.3	35.1	22.8	6.4	9.2	3.3
やや苦しい	100.0	20.1	39.2	24.0	6.0	7.7	3.0
普通	100.0	15.8	43.2	25.4	6.4	7.7	1.6
ややゆとりがある	100.0	14.6	40.3	25.0	7.6	10.4	2.1
大変ゆとりがある	100.0	15.8	31.6	26.3	10.5	10.5	5.3
不詳	100.0	21.2	34.2	18.9	9.2	8.8	7.6

第16表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後の社会保障の給付の水準についての考え方別

(単位:%)

	総数	社会保障の給付水準は大幅に引き上げるべき	社会保障の給付水準はある程度引き上げるべき	社会保障の給付水準は維持すべき	社会保障の給付水準はある程度引き下げるべき	社会保障の給付水準は大幅に引き下げるべき	その他	不詳
総数	100.0	6.0	29.4	48.2	7.7	1.9	3.7	3.0
29歳以下	100.0	6.1	26.9	49.3	8.0	2.1	4.8	2.8
30～39歳	100.0	4.9	32.5	44.9	9.2	2.3	5.3	1.0
40～49歳	100.0	6.7	29.2	48.2	7.9	2.2	3.9	1.9
50～59歳	100.0	7.8	31.1	45.7	7.6	2.4	3.5	2.0
60～69歳	100.0	5.6	30.8	49.8	7.3	1.5	1.6	3.4
70歳以上	100.0	5.7	26.4	50.0	7.0	1.6	4.2	5.2
(再)65歳以上	100.0	5.7	27.3	50.4	6.9	1.6	3.4	4.7
男性	100.0	6.6	29.4	47.8	8.1	2.4	3.2	2.5
29歳以下	100.0	6.9	23.7	50.7	9.2	2.5	3.7	3.2
30～39歳	100.0	5.1	31.6	43.8	10.4	3.5	4.5	1.1
40～49歳	100.0	7.4	27.7	47.0	8.7	2.9	4.3	2.0
50～59歳	100.0	9.7	31.0	44.3	7.3	3.0	3.4	1.3
60～69歳	100.0	6.4	30.7	49.6	7.1	1.6	1.3	3.3
70歳以上	100.0	5.0	29.3	50.4	7.0	1.6	3.0	3.7
(再)65歳以上	100.0	5.3	29.0	50.7	7.0	1.8	2.5	3.8
女性	100.0	5.6	29.4	48.6	7.4	1.5	4.2	3.4
29歳以下	100.0	5.4	29.8	48.1	6.8	1.7	5.8	2.5
30～39歳	100.0	4.6	33.3	45.8	8.0	1.2	6.1	0.9
40～49歳	100.0	5.9	30.7	49.4	7.2	1.5	3.5	1.9
50～59歳	100.0	6.1	31.1	47.0	7.7	1.9	3.6	2.6
60～69歳	100.0	4.8	31.0	50.0	7.4	1.4	2.0	3.5
70歳以上	100.0	6.2	24.0	49.6	7.0	1.6	5.1	6.4
(再)65歳以上	100.0	6.0	26.0	50.1	6.8	1.5	4.1	5.5

第17表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後の社会保障の負担の水準についての考え方別

(単位:%)

	総数	大幅な負担増も やむを得ない	ある程度の 負担増は やむを得ない	現状程度の 負担とすべき	ある程度負担は 減らすべき	大幅に負担を 減らすべき	その他	不詳
総数	100.0	0.8	20.7	43.6	21.8	6.4	3.5	3.3
29歳以下	100.0	0.9	17.6	39.9	26.7	7.6	4.2	3.1
30～39歳	100.0	1.2	19.0	40.1	27.0	6.6	4.3	1.8
40～49歳	100.0	1.4	21.2	41.3	23.5	7.1	3.5	1.9
50～59歳	100.0	0.8	22.5	43.7	18.8	7.9	4.0	2.3
60～69歳	100.0	0.5	23.0	45.9	20.2	5.2	1.6	3.6
70歳以上	100.0	0.5	19.2	46.7	18.8	5.3	3.9	5.6
(再)65歳以上	100.0	0.6	19.7	46.9	18.9	5.6	3.3	5.1
男性	100.0	1.1	22.3	42.5	21.4	7.0	2.9	2.8
29歳以下	100.0	0.7	19.8	38.0	25.8	9.0	3.7	3.0
30～39歳	100.0	1.8	18.2	41.0	25.9	7.8	3.6	1.7
40～49歳	100.0	2.0	21.1	39.5	24.2	7.6	3.8	1.9
50～59歳	100.0	1.6	24.8	39.1	19.3	10.0	3.7	1.6
60～69歳	100.0	0.7	25.1	45.6	18.0	5.7	1.3	3.7
70歳以上	100.0	0.2	22.7	46.8	19.0	4.7	2.6	4.0
(再)65歳以上	100.0	0.4	22.3	46.8	18.9	5.3	2.2	4.2
女性	100.0	0.6	19.2	44.6	22.1	5.8	4.0	3.7
29歳以下	100.0	1.0	15.7	41.5	27.5	6.4	4.8	3.1
30～39歳	100.0	0.7	19.8	39.1	28.1	5.4	5.0	2.0
40～49歳	100.0	0.9	21.4	43.0	22.9	6.6	3.3	2.0
50～59歳	100.0	0.1	20.5	47.7	18.4	6.2	4.3	2.9
60～69歳	100.0	0.4	21.0	46.3	22.3	4.7	2.0	3.5
70歳以上	100.0	0.7	16.5	46.7	18.6	5.8	4.9	6.8
(再)65歳以上	100.0	0.7	17.5	46.9	19.0	5.9	4.2	5.8

第18表 今後の社会保障の給付と負担の水準についての考え方の組合せ

(単位:%)

	総数	負担の水準							
		大幅な負担増も やむを得ない	ある程度の 負担増は やむを得ない	現状程度の 負担とすべき	ある程度負担は 減らすべき	大幅に負担を 減らすべき	その他	不詳	
総数	100.0	0.8	20.7	43.6	21.8	6.4	3.5	3.3	
給付の 水準	社会保障の給付水準は 大幅に引き上げるべき	6.0	0.5	1.0	0.9	1.4	2.2	0.1	0.0
	社会保障の給付水準は ある程度引き上げるべき	29.4	0.2	9.9	10.4	7.4	0.9	0.3	0.2
	社会保障の給付水準は 維持すべき	48.2	0.0	8.3	30.0	8.0	1.1	0.5	0.4
	社会保障の給付水準は ある程度引き下げるべき	7.7	0.0	1.1	1.7	4.1	0.6	0.1	0.0
	社会保障の給付水準は 大幅に引き下げるべき	1.9	0.1	0.0	0.1	0.4	1.3	0.0	0.0
	その他	3.7	0.0	0.2	0.4	0.3	0.2	2.5	0.1
	不詳	3.0	-	0.1	0.1	0.2	0.1	-	2.5

第19表 世帯員数の構成割合、今後の社会保障の給付の水準についての考え方別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野別（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の 所得保障 (年金)	高齢者医療 や介護	子ども・ 子育て支援	医療保険・ 医療供給 体制など	健康の 保持・促進	障害者 福祉	生活保護	雇用の確保 や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	64.5	51.7	36.6	40.6	15.0	10.6	5.5	30.0	0.5	5.8
社会保障の給付水準は 大幅に引き上げるべき	100.0	73.6	53.8	27.6	40.1	11.1	10.1	14.5	27.1	0.3	5.9
社会保障の給付水準は ある程度引き上げるべき	100.0	72.1	55.7	36.5	42.8	12.9	11.6	5.8	29.3	0.3	3.8
社会保障の給付水準は 維持すべき	100.0	64.2	53.7	38.2	41.6	16.3	10.1	3.7	31.5	0.4	3.8
社会保障の給付水準は ある程度引き下げるべき	100.0	53.6	42.9	43.0	39.4	19.3	9.5	7.0	34.2	0.4	5.4
社会保障の給付水準は 大幅に引き下げるべき	100.0	47.2	40.1	35.5	47.2	18.8	13.2	13.7	23.9	-	8.6
その他	100.0	46.0	35.1	34.8	28.5	16.8	13.6	4.3	27.7	5.1	14.4
不詳	100.0	37.9	28.2	15.3	17.9	6.3	7.0	6.0	15.9	1.0	46.8

第20表 世帯員数の構成割合、今後の社会保障の給付の水準についての考え方別にみた今後、より効率的な給付やサービスに
すべきと考える社会保障の分野別（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の 所得保障 (年金)	高齢者医療 や介護	子ども・ 子育て支援	医療保険・ 医療供給 体制など	健康の 保持・促進	障害者 福祉	生活保護	雇用の確保 や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	41.5	41.5	31.7	40.4	18.5	15.9	14.7	26.0	0.5	10.4
社会保障の給付水準は 大幅に引き上げるべき	100.0	51.4	44.4	25.0	43.4	15.2	17.5	17.3	26.3	0.3	10.1
社会保障の給付水準は ある程度引き上げるべき	100.0	46.3	46.1	34.7	43.1	16.9	17.2	13.0	26.8	0.2	7.6
社会保障の給付水準は 維持すべき	100.0	40.8	41.8	32.7	41.4	20.4	15.4	14.3	26.1	0.3	8.3
社会保障の給付水準は ある程度引き下げるべき	100.0	33.3	38.3	30.5	35.0	20.9	16.4	20.9	30.6	0.4	11.5
社会保障の給付水準は 大幅に引き下げるべき	100.0	34.0	29.9	22.8	40.6	22.8	17.8	20.8	26.4	-	17.3
その他	100.0	34.6	28.7	24.7	28.7	14.6	12.5	18.6	20.2	5.6	18.9
不詳	100.0	19.3	16.9	15.9	19.9	7.0	9.0	7.0	10.0	1.0	54.8

第21表 世帯員数の構成割合、今後の社会保障の負担の水準についての考え方別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野別（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の所得保障 (年金)	高齢者医療 や介護	子ども・ 子育て支援	医療保険・ 医療供給 体制など	健康の 保持・促進	障害者 福祉	生活保護	雇用の確保 や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	64.5	51.7	36.6	40.6	15.0	10.6	5.5	30.0	0.5	5.8
大幅な負担増も やむを得ない	100.0	48.8	41.7	36.9	32.1	20.2	19.0	11.9	29.8	-	8.3
ある程度の負担増は やむを得ない	100.0	62.6	53.8	43.6	39.5	17.1	12.0	3.8	30.7	0.3	3.5
現状程度の 負担とすべき	100.0	66.5	55.2	36.1	41.4	15.2	9.7	4.2	30.5	0.4	4.2
ある程度負担は 減らすべき	100.0	70.1	49.6	36.0	42.9	13.6	11.4	7.9	31.0	0.2	4.0
大幅に負担を 減らすべき	100.0	60.4	47.7	30.7	46.1	14.1	8.7	11.9	29.1	0.5	8.0
その他	100.0	49.0	35.4	30.9	31.7	15.3	13.9	5.9	28.9	5.7	13.3
不詳	100.0	40.1	33.7	19.0	21.7	7.5	7.8	4.5	16.3	0.3	41.9

第22表 世帯員数の構成割合、今後の社会保障の負担の水準についての考え方別にみた今後、より効率的な給付やサービスにすべきと考える社会保障の分野別（複数回答）

(単位:%)

	総数	老後の所得保障 (年金)	高齢者医療 や介護	子ども・ 子育て支援	医療保険・ 医療供給 体制など	健康の 保持・促進	障害者 福祉	生活保護	雇用の確保 や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	41.5	41.5	31.7	40.4	18.5	15.9	14.7	26.0	0.5	10.4
大幅な負担増も やむを得ない	100.0	46.4	35.7	19.0	35.7	17.9	15.5	20.2	26.2	-	16.7
ある程度の負担増は やむを得ない	100.0	39.8	44.6	34.7	38.3	19.2	17.7	16.2	28.0	0.3	7.8
現状程度の 負担とすべき	100.0	41.8	42.9	32.5	41.6	19.5	15.6	14.1	25.3	0.3	8.5
ある程度負担は 減らすべき	100.0	45.6	43.2	32.2	44.3	17.9	15.1	14.5	27.5	0.3	8.4
大幅に負担を 減らすべき	100.0	41.8	36.2	25.9	41.0	19.2	19.2	17.8	28.5	0.2	12.1
その他	100.0	36.5	27.8	27.8	30.9	14.4	13.3	13.9	21.8	5.9	18.7
不詳	100.0	23.5	18.1	16.3	21.7	8.4	8.4	6.9	11.1	0.3	52.4

第23表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた手助けや見守りを行うに当たっての公的なサービス（介護保険など）の満足度別

(単位:%)

	総数	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	その他	不詳
総数	100.0	10.6	39.6	26.1	13.2	9.5	1.1
29歳以下	100.0	10.4	22.9	39.6	14.6	12.5	-
30～39歳	100.0	7.4	31.6	30.1	13.2	16.2	1.5
40～49歳	100.0	5.5	33.1	29.0	17.7	13.7	1.0
50～59歳	100.0	10.4	42.8	25.0	12.1	8.8	0.9
60～69歳	100.0	12.7	44.4	23.3	12.7	6.3	0.6
70歳以上	100.0	17.4	37.4	25.8	9.0	7.1	3.2
(再)65歳以上	100.0	15.6	42.6	21.8	11.0	6.7	2.1
男性	100.0	9.7	39.6	26.8	14.0	9.4	0.5
29歳以下	100.0	5.3	26.3	26.3	21.1	21.1	-
30～39歳	100.0	4.8	38.7	29.0	11.3	16.1	-
40～49歳	100.0	4.0	30.6	32.3	19.4	12.9	0.8
50～59歳	100.0	9.9	39.7	25.6	14.9	9.5	0.4
60～69歳	100.0	11.2	45.2	26.0	12.4	5.2	-
70歳以上	100.0	16.9	39.3	23.6	9.0	9.0	2.2
(再)65歳以上	100.0	14.0	43.0	22.3	12.3	7.3	1.1
女性	100.0	11.4	39.6	25.5	12.4	9.6	1.6
29歳以下	100.0	13.8	20.7	48.3	10.3	6.9	-
30～39歳	100.0	9.5	25.7	31.1	14.9	16.2	2.7
40～49歳	100.0	6.5	34.9	26.6	16.6	14.2	1.2
50～59歳	100.0	10.7	45.1	24.5	10.1	8.3	1.2
60～69歳	100.0	14.3	43.5	20.2	13.0	7.6	1.3
70歳以上	100.0	18.2	34.8	28.8	9.1	4.5	4.5
(再)65歳以上	100.0	17.7	42.2	21.1	9.5	6.1	3.4

注：集計対象は、現在、自分または自分の配偶者の親に対して、手助けや見守りを「している」と回答した者である。

第24表 世帯員数の構成割合、性・手助けや見守りの対象者の人数別にみた公的なサービス（介護保険など）の満足度別

(単位:%)

	総数	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	その他	不詳
総数	100.0	10.6	39.6	26.1	13.2	9.5	1.1
手助けや見守りの対象者	1人	12.6	41.8	23.9	11.7	9.0	0.9
	2人	6.6	38.9	29.1	14.7	10.8	-
	3人以上	7.4	29.6	34.8	17.0	11.1	-
	不詳	5.3	18.4	26.3	23.7	5.3	21.1
男性	100.0	9.7	39.6	26.8	14.0	9.4	0.5
手助けや見守りの対象者	1人	11.0	41.5	24.5	13.3	9.3	0.4
	2人	6.5	41.9	29.6	12.4	9.7	-
	3人以上	8.1	22.6	40.3	17.7	11.3	-
	不詳	10.0	20.0	20.0	35.0	5.0	10.0
女性	100.0	11.4	39.6	25.5	12.4	9.6	1.6
手助けや見守りの対象者	1人	14.1	42.1	23.4	10.3	8.7	1.4
	2人	6.7	36.3	28.7	16.6	11.7	-
	3人以上	6.8	35.6	30.1	16.4	11.0	-
	不詳	-	16.7	33.3	11.1	5.6	33.3

注：集計対象は、現在、自分または自分の配偶者の親に対して、手助けや見守りを「している」と回答した者である。

第25表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた子育て支援に関する公的なサービス（保育所など）の満足度別

(単位:%)

	総数	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	その他	不詳
総数	100.0	13.1	33.4	29.5	19.1	3.7	1.2
29歳以下	100.0	10.3	27.7	34.2	23.9	1.9	1.9
30～39歳	100.0	14.8	32.1	28.5	19.9	4.0	0.8
40～49歳	100.0	12.6	40.3	28.1	14.7	3.9	0.4
50～59歳	100.0	-	38.1	38.1	19.0	4.8	-
60～69歳	100.0	-	27.3	27.3	18.2	-	27.3
70歳以上	100.0	-	37.5	37.5	-	12.5	12.5
(再)65歳以上	100.0	-	40.0	26.7	6.7	6.7	20.0
男性	100.0	12.2	33.5	31.1	17.4	3.7	2.1
29歳以下	100.0	7.3	25.5	43.6	20.0	-	3.6
30～39歳	100.0	14.0	32.5	30.5	17.1	4.1	1.7
40～49歳	100.0	12.9	37.4	27.3	17.3	4.3	0.7
50～59歳	100.0	-	44.4	33.3	16.7	5.6	-
60～69歳	100.0	-	28.6	14.3	28.6	-	28.6
70歳以上	100.0	-	33.3	50.0	-	-	16.7
(再)65歳以上	100.0	-	40.0	30.0	10.0	-	20.0
女性	100.0	13.9	33.3	27.9	20.8	3.7	0.4
29歳以下	100.0	12.0	29.0	29.0	26.0	3.0	1.0
30～39歳	100.0	15.4	31.8	26.7	22.3	3.9	-
40～49歳	100.0	12.0	44.6	29.3	10.9	3.3	-
50～59歳	100.0	-	-	66.7	33.3	-	-
60～69歳	100.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0
70歳以上	100.0	-	50.0	-	-	50.0	-
(再)65歳以上	100.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0

注：集計対象は、未就学児がいると回答した者である。

第26表 世帯員数の構成割合、性・未就学児の人数別にみた子育て支援に関する公的なサービス（保育所など）の満足度別

(単位:%)

	総数	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	その他	不詳
総数	100.0	13.1	33.4	29.5	19.1	3.7	1.2
未就学児	1人	11.3	33.8	30.5	19.7	3.6	1.1
	2人以上	17.3	32.3	27.2	17.9	3.8	1.6
男性	100.0	12.2	33.5	31.1	17.4	3.7	2.1
未就学児	1人	10.5	33.8	32.4	18.0	3.3	1.9
	2人以上	16.0	32.7	28.2	16.0	4.5	2.6
女性	100.0	13.9	33.3	27.9	20.8	3.7	0.4
未就学児	1人	12.1	33.9	28.6	21.3	3.9	0.3
	2人以上	18.5	31.8	26.1	19.7	3.2	0.6

注：集計対象は、未就学児がいると回答した者である。

調 査 票



平成25年 社会保障制度改革に関する意識等調査

【お願い】

現在、日本では少子高齢化といった人口構成の大きな変化、非正規労働者の増大など雇用基盤の変化、家族形態・地域基盤の変化など、社会保障制度を支える社会経済情勢には大きな変化が生じています。その中で社会保障制度は、その機能を維持し、制度の持続可能性を確保するための改革が求められています。

この調査は、社会保障制度に対する認知度や、給付と負担の水準などについての意識を調査することで、今後の社会保障・税一体改革を含めた厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした大切な調査です。

お答えになった内容については必ず秘密を守りますので、ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

【記入上の注意】

1. 調査票は、20歳以上の方ひとりひとりにお配りいたしますので、それぞれの方がお答えください。
2. お答えは該当する番号を○で囲むか、数字を記入してください。
3. 質問の内容や、その他わからないことがありましたら、調査員がお伺いしたときにおたずねください。

【この欄は、あらかじめ調査員の方が記入してください】

地区 番号					単位区 番号					世帯 番号				
----------	--	--	--	--	-----------	--	--	--	--	----------	--	--	--	--

都道府県
指定都市 名 _____
中核市

福祉事務所名 _____

調査員氏名 _____

I あなた自身のことについてお聞かせください。

問 1

あなたの出生年月と性別をお答えください。

該当するものの番号を○で囲み、出生年月を記入してください。

1. 明治 3. 昭和
2. 大正 4. 平成

--

年

--

月

1. 男 2. 女

II 社会保障制度に関する情報を得る手段についてお聞かせください。

問 2

年金、医療、介護、子ども・子育て支援などの社会保障制度について、あなたは普段どの程度それらに関する情報に接していますか。

あてはまるものを次の中から **1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 積極的にそれらの情報を集めている
2. その様な情報を見かけた時には、興味を持って見るようにしている
3. あまり興味はないが、時々その様な情報に接することはある
4. ほとんどその様な情報に接することはない
5. その他 ()

問 3

社会保障制度に関する情報は、どのような方法で入手することが多いですか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。 (複数回答可)

1. 政府機関や地方自治体の窓口などで直接聞く
2. 政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物
3. 政府機関や地方自治体のホームページ
4. 新聞
5. テレビ
6. 書籍
7. 一般のウェブページ (ホームページ)
8. その他 ()
9. その様な情報を入手することはない

問 4

社会保障制度に関して普段あなたが得ている情報の内容や、政府からの社会保障制度に関する情報提供の状況について、満足していますか。

あてはまるものを次の中から 1つだけ 選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である
4. 不満である
5. その他 ()

補問 1 については、問 4 の質問で、「3. やや不満である」または「4. 不満である」とお答えした方にお伺いします。

(補問 1) 不満である理由をお答えください。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. どのように情報を手に入ればよいか分からない
2. 得られる情報の量が少ない
3. 得られる情報が正確でない
4. 得られる情報が分かりづらい
5. その他 ()

(問 5 以降については、すべての方にお伺いします。)

問 5

社会保障制度に関して、今後こういった形での情報提供をより多く望んでいますか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 政府機関や地方自治体の窓口などで直接情報を得たい
2. 政府機関や地方自治体のパンフレットなどの刊行物
3. 政府機関や地方自治体のホームページ
4. 新聞
5. テレビ
6. 書籍
7. 一般のウェブページ (ホームページ)
8. 特に情報を得たいとは思わない
9. その他 ()

問 6

あなたは学生の時に、社会保障制度に関する授業（注）を受けた経験はありますか。（学生の方は、現在の状況を含めてお答えください。）

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. ある
2. ない
3. 覚えていない

注：「社会保障制度に関する授業」とは、年金、医療、介護、子ども・子育て支援、健康の保持や増進、障害者福祉、生活保護、雇用の確保や失業対策などの分野における、公的な制度及びサービスについての授業を指します。どのような科目でもかまいませんし、社会保障制度のみに特化した科目・授業である必要はありません。例えば、「社会保険」「公的扶助」「社会福祉」「公衆衛生」などの柱立てで、社会保障制度に関する授業が行われています。

補問 2・3については、問 6 の質問で、「1. ある」とお答えした方にお伺いします。

(補問 2)

あなたが社会保障制度に関する授業を受けたのはどの学校ですか。（学生の方は、現在の状況を含めてお答えください。）

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。（複数回答可）

1. 小学校
2. 中学校
3. 高校、専門学校
4. 大学、短期大学
5. その他（ ）
6. 覚えていない

(補問 3)

社会保障制度に関する授業はどのような内容であったか、現在どの程度覚えていますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. よく覚えている
2. やや覚えている
3. あまり覚えていない
4. 全く覚えていない
5. その他（ ）

Ⅲ 社会保障制度改革に対する意識についてお聞かせください。

(問7以降については、すべての方にお伺いします。)

問7

あなたが、今後、充実させる必要があると考える社会保障の分野はどれですか。また、今後、より効率的な給付やサービスにすべきだと考える社会保障の分野はどれですか。

あてはまるものを次の中から3つまで選んで、該当する番号をA、Bそれぞれの“□”の中に記入してください。(3つまで複数回答可、A、Bにおける重複回答可)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 老後の所得保障(年金) | 6. 障害者福祉 |
| 2. 老人医療や介護 | 7. 生活保護 |
| 3. 子ども・子育て支援 | 8. 雇用の確保や失業対策 |
| 4. 医療保険・医療供給体制など | 9. その他() |
| 5. 健康の保持・促進 | |

(該当する番号を記入)

→ A. 今後、充実させるべきもの

□	□	□
---	---	---

→ B. 今後、より効率的な給付やサービスにすべきもの

□	□	□
---	---	---

問8

あなたは、現在の税や社会保険料の負担水準についてどう思いますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 生活が苦しくなるほど重い
2. 生活にはあまり影響しないが負担感がある
3. 特に負担感はない
4. その他()

問9

あなたは、今後の社会保障制度を維持するための財源として、税と社会保険料のどちらを中心にしていけばいいとお考えですか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 社会保障制度に必要な費用は、税で賄うべき
2. 社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば税で賄うべき
3. 社会保障制度に必要な費用は、どちらかと言えば社会保険料で賄うべき
4. 社会保障制度に必要な費用は、社会保険料で賄うべき
5. その他()

問10

今後の社会保障の給付と負担の水準について、それぞれどのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から **1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

【給付】

- 1. 社会保障の給付水準は大幅に引き上げるべき
- 2. 社会保障の給付水準はある程度引き上げるべき
- 3. 社会保障の給付水準は維持すべき
- 4. 社会保障の給付水準はある程度引き下げるべき
- 5. 社会保障の給付水準は大幅に引き下げるべき
- 6. その他 ()

あてはまるものを次の中から **1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

【負担】

- 1. 大幅な負担増もやむを得ない
- 2. ある程度の負担増はやむを得ない
- 3. 現状程度の負担とすべき
- 4. ある程度負担は減らすべき
- 5. 大幅に負担を減らすべき
- 6. その他 ()

IV あなたの家族の状況についてお聞かせください。

問11

現在、あなた又はあなたの配偶者の親に対して、手助けや見守りを行っていますか。あてはまる番号に○を付けてください。

- 1. している
- 2. していない

「1. している」とお答えした方にお伺いします。

手助けや見守りが必要となる対象の方の人数をお答えください。

手助けや見守りを必要としている方 人

「1. している」とお答えした方は、更に次ページの補問4にお答えください。

補問4については、問11の質問で、「1. している」とお答えした方にお伺いします。

(補問4)

手助けや見守りを行うに当たって、公的なサービス（介護保険など）について満足していますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である
4. 不満である
5. その他 ()

(問12以降については、お子さんのいらっしゃる方にお伺いします。)

問12

あなたのお子さんの人数をお答えください。また、就学前のお子さんがいらっしゃる場合は、その人数についてもお答えください。（別居しているお子さんも含みます。）

お子さん

人

就学前のお子さん

人

問13

子育て支援に関する公的なサービス（保育所など）について、満足していますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である
4. 不満である
5. その他 ()

ご協力ありがとうございました。